

SAJ 活動 pickup

2022年7月～2022年12月

一般社団法人ソフトウェア協会

SAJ 活動 pickup

2022年7月～2022年12月

本資料では、2022年7月から2022年12月までの主な活動を pickup してご紹介します。

本資料では、委員会・研究会活動等のなかで、企画・実施したもの、調査・研究を行ったものなどを中心に、事務局の各担当がとりまとめを行い掲載しています。なお、委員会・研究会活動の経過内容等については割愛していますが、ご興味・ご関心を持たれた活動がありましたら、ぜひご参画ください。

内容

YOUTUBE チャンネル開設	2
政策提言・意見交換	3
視察ツアー	5
イベント	10
ビジネスマッチング	16
情報提供セミナー・説明会	21
2023年1月以降開催セミナー(予定含む)	47
ニュースリリース	49
報告書	51
実施事業	52
ご案内	56

ソフトウェア協会 YouTube チャンネル



弊協会は、各種の情報発信の場として、YouTube 公式チャンネルを開設しています。
本チャンネルでは、協会の会長や副会長からのメッセージや、IT やソフトウェア業界にまつわる各種映像を公開しています。ぜひご覧ください。

●SAJ の YouTube 公式チャンネル URL ・ QR コード

<https://www.youtube.com/channel/UCf0nZvRWX8g3CEKGuZDdVOg>



ぜひ、チャンネル登録をお願いします！

政策提言・意見交換

2022年9月27日(火)

「フリーランスに係る取引適正化のための法制度の方向性」への意見を提出

2022年9月13日から2022年9月27日までの期間、内閣官房 新しい資本主義実現本部事務局より意見募集されていた「フリーランスに係る取引適正化のための法制度の方向性」について、法務知財委員会で意見をとりまとめ、2022年9月27日に、内閣官房 新しい資本主義実現本部事務局 フリーランス取引適正化法制準備室へ意見を提出した。

MDEC (Malaysia Digital Economy Corporation) との意見交換

(主催：国際委員会)

開催日：2022年9月14日(水)

会場：オンライン (Zoom)

目的：・マレーシアの概要およびマレーシアのテックエコシステムの紹介
・ Malaysia Digital Economy Corporation (MDEC)の紹介など

参加実績：Malaysia Digital Economy Corporation (MDEC)

シニアバイスプレジデント他、Tech Ecosystem & Globalisation より2名計3名

TK インターナショナル (TK International Sdn Bhd) Managing Director & CEO 阿部様

一般社団法人ソフトウェア協会 (SAJ)

国際委員会 青野委員長をはじめとする4社6名および事務局

講演概略：はじめに、マレーシア側より Malaysia Digital Economy Corporation (MDEC)および MDEC 内のマレーシアに進出する海外企業をサポートする部署 Tech Ecosystem & Globalisation の紹介いただき、マレーシア・デジタル (MD) などについて説明がなされた。

続いて、日本側より原洋一常務理事・事務局長から SAJ の紹介および日本市場における情報サービス産業の業界動向に関する説明がなされた。

ディスカッションでは、マレーシアのデータ保護についての質疑やマレーシアに進出する日本企業へのサポートなどについて活発に意見交換を行った。

今後、MDEC と SAJ の間でビジネス連携を深めていくため、定期ミーティングの開催を実施することを双方にて同意した。



政策提言・意見交換

2022年10月6日(木)

納税環境の電子化等に係る意見交換会を実施

2022年10月6日、オンラインにて、財務省、国税庁、経済産業省との納税環境の電子化等に係る意見交換会を実施した。改正電子帳簿保存法について、『解像度』『大きさ』『階調』に関する保存要件が1つでも残っている限りは、納税者は自ら入力する手間は変わらないこともあり、『階調』に関する情報の保存についても不要とすることなど、スキャナ保存の要件見直しを申し入れた。また、法制度に係るベンダー側の開発状況等のヒアリングについて、協力を行った。

2022年11月10日(木)

第22回SAJ-IPA意見交換会(IPA主催)

2022年11月10日(木)、SAJと独立行政法人情報処理推進機構(IPA)との意見交換会が、IPA会議室およびオンラインのハイブリットにより開催された。

IPAからは、富田達夫理事長をはじめ理事、センター長など11名の参加され、IPAの今後の取組や各センターの活動など紹介された。

SAJからは、田中邦裕会長をはじめとした筆頭副会長、副会長など11名が参加し、2022年6月からの新体制となった役員の紹介、そして新たな方針「新たなデジタル化に向けて活動する方々の支援、デジタルを前提とした新しい社会を目指す」、政策提言のトピックなどを紹介した。

それぞれの活動等の紹介後は、活発な意見交換会が行われた。



視察ツアー

SAJ 顔認証ビジネス研究会 地域 5G 研究会共催

「甲子園球場 docomo LOUNGE KOSHIEN 視察」

開催日：2022年8月31日（水）

会場：ハイブリッド、視察は現地参加者のみ

（研究会：NTT ドコモ関西支社会議室、視察：阪神甲子園球場「docomo LOUNGE KOSHIEN」）

参加実績：現地 15 名、オンライン 3 名

視察概略：視察に先立ち、顔認証ビジネス研究会と地域 5G 研究会の合同研究会が開催され、NTT コミュニケーションズ株式会社プラットフォームサービス本部 5G & IoT サービス部 担当課長の山田様より「5G ソリューション×スポーツ 野球取り組みご紹介」をご説明いただき、リアルネットワークス株式会社 営業部長 斎藤様から「SAFR について+取組事例（荒尾市等）」についてご説明いただいた。研究会後は、阪神甲子園球場の「docomo LOUNGE KOSHIEN」の視察を行った。ラウンジの出入りには顔認証システムが導入されたことで、2 名の人員削減が図れていると顔認証システムの導入効果について話を聞いた。



視察ツアー

熊本県荒尾市視察

開催日：2022年9月22日（木）～23日（金・祝日）

訪問先：熊本県荒尾市

地域デジタル推進委員会では、「あらお海陽スマートタウン」構築に向けた土地区画整理事業とともにデジタル化施策を推進する熊本県荒尾市を訪問し、浅田敏彦市長、総務部総合政策課の皆様との意見交換、および「あらお海陽スマートタウン」開発地区の視察を実施した。当日は9社11名が参加し、大変有意義な行政視察となった。

行程：

開催日：2022年9月22日（木）

万田杭（世界遺産）見学

荒尾市役所訪問

- ・荒尾市ご挨拶：浅田 敏彦 氏（荒尾市長）
- ・SAJについて：豊田 崇克 氏（SAJ 副会長/地域デジタル推進委員会委員長）
- ・荒尾市スマートシティについて：末永 淳一 氏（荒尾市総務部総合政策課 課長）
町田 直 氏（エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社九州支社長）

・意見交換会

荒尾競馬場跡地見学

開催日：2022年9月23日（金）

会 場：南阿蘇カントリークラブ

・親睦ゴルフコンペ



浅田 敏彦市長



豊田 崇克委員長



末永 淳一課長



田川 秀樹担当部

視察ツアー

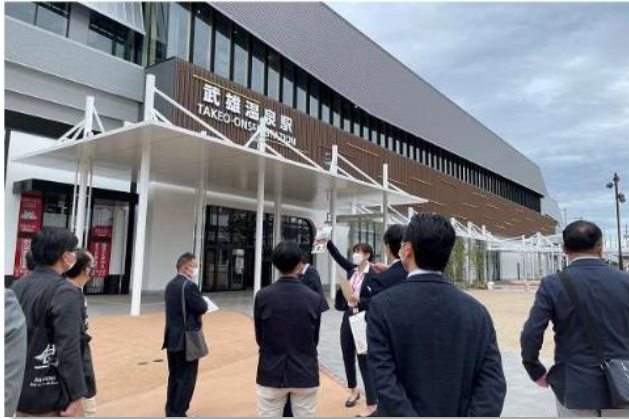
佐賀県武雄市視察&ディスカッション

(スマートシティ研究会)

期間：2022年10月6日(木)～7日(金)

スマートシティ研究会では、佐賀県武雄市におけるスマートシティ化の本格始動のため、北九州新幹線の開業直後に佐賀県武雄市を視察・訪問し、交通・防災の2つをテーマに、現状の課題など、地元武雄市の住民たちにヒアリングするとともに、課題解決のためのディスカッション・意見交換を行いました。

各グループで出たアイデアをはじめ、その他課題を解決するべく、今後も引き続き武雄市の方々と議論を進めていく予定です。



視察ツアー

プロジェクトみらい

「NoMaps2022 / 石狩データセンター見学」

開催日：2022年10月20日（木）～10月21日（金）

参加実績：9名

視察概略：プロジェクトみらい（仮）では、10月20日（木）午後から10月21日（金）にかけて、NoMaps2022と石狩データセンター（さくらインターネット株）の見学を企画・開催した。2016年からスタートしたNoMapsは北海道・札幌を中心に、カンファレンス・展示・イベント等クリエイティブな発想や技術进行交流し合うコンベンションである。10月20日のセッションに、鈴木 大輔氏（株式会社ARTLOGUE 代表取締役 CEO / 大阪関西国際芸術祭 創設者・総合プロデューサー）、前回のプロジェクトみらい（仮）でご登壇いただいた杉山 央氏（森ビル新領域企画部）とSAJ 田中会長（さくらインターネット株式会社 代表取締役 CEO）が登場し、アートとテクノロジーで創るソーシャルグッドなビジネスについてご講演をいただいた。参加者の皆様が本講演を聴講した後、NoMapsの他のイベントやセッションも自由に見学した。また、当日の19時から北海道新聞社本社ビルで田中会長ご登壇のSCS STARS INCUBATE PROGRAM（NoMapsカンファレンス2022連携セッション）もご参加いただいた。

2日目は午前中にさくらインターネット株式会社の石狩データセンターを見学した。石狩データセンターは、クラウドコンピューティングに最適化された日本最大級の郊外型大規模データセンターで、北海道の冷涼な外気を活用した外気冷房によるエネルギー効率の向上、建物から設備にいたるまでの徹底したモジュール設計による柔軟性、東京ドームの約1.1倍という広大な敷地、などの特徴がある。しかも、見学する前に田中会長自ら当施設についてご説明いただいた。見学した後、ご参加の皆様より自己紹介をいただき、楽しくお話をした。

イベントの最後に、ご参加いただいた皆様にて懇親会を行った。美味しい石狩料理を食べながら、近況を話す楽しい会となった。



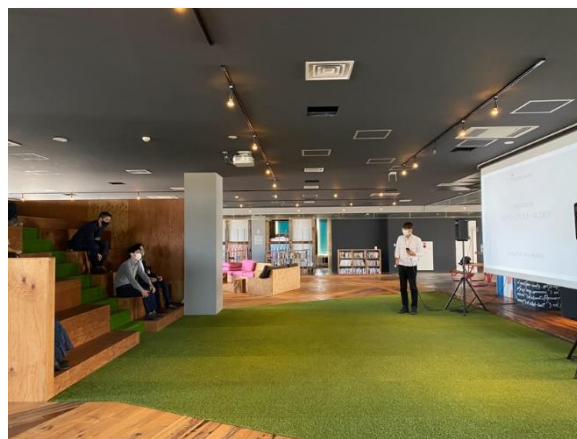
NoMapsカンファレンスの様子1



NoMapsカンファレンスの様子2



NoMaps連携セッション会場の様子



石狩データセンター見学の様子

視察ツアー

産業技術総合研究所（臨海副都心センター）

開催日：2022年12月22日（木）

会場：産業技術総合研究所 臨海副都心センター

参加実績：12社17名

視察概略：新技術の動向調査のため、委員会および委員会配下の研究会所属メンバーを対象に、産業技術総合研究所 臨海副都心センターを視察した。

講演では副都心センターにおける研究領域についてご説明いただいたのち、NEC-産総研 人工知能連携研究室の取組み、デジタルアーキテクチャ研究センター概要、デジタルアーキテクチャの取組み（デモ・事例）について説明。講演後、サイバーフィジカルシステム研究棟とライフ・テクノロジー・スタジオの2つの施設を見学した。



イベント

2022年7月1日(金)～2日(土)

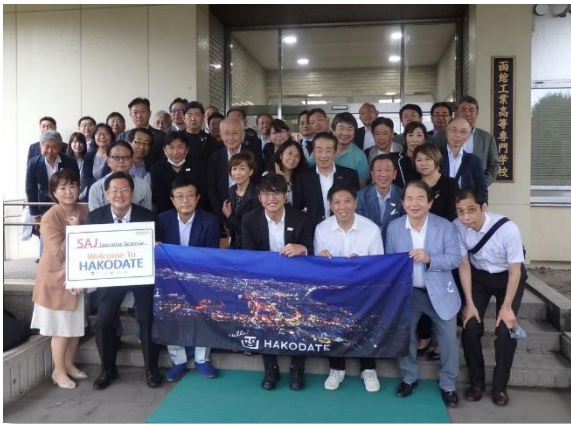
エグゼクティブセミナー in 函館 ～DX時代と地域の未来～

(主催：交流委員会)

2022年7月1日(金)～7月2日(土)の2日間、SAJ会員の経営者・管理者層を中心とした「エグゼクティブセミナーin 函館 ～DX時代と地域の未来～」が、北海道 函館市・公立はこだて未来大学・函館工業高等専門学校のご協力のもと、函館工業高等専門学校にて開催。

セミナー第1部では、「函館市の取組」、「公立はこだて未来大学の取組」、「函館工業高等専門学校の取組」をご紹介いただき、セミナー第2部からは、函館工業高等専門学校の学生約70名も会場に入り、SAJ田中会長がモデレータとなって、パネルディスカッションが行われ、その後、生産システム工学科情報コースを中心とした学生さんとの意見交換会を実施。

SAJからの参加および現地参加を含め35社・団体/50名が参加し、大変盛況中、無事終了した。



イベント

2022年8月24日(水)

SAJ 会員交流会

(主催：交流委員会)

2022年8月24日(水)、「京王プラザホテル」にて、3年振りに「SAJ 会員交流会」が開催された。

冒頭、田中邦裕会長による開会のご挨拶・乾杯のご発声で会はスタートし、会の中盤では会員企業様のご提供による豪華賞品の抽選会を実施。抽選会の司会進行は、交流委員会副委員長の小川敦理事と松倉泉理事が務め、大いに盛り上がった。

今年は過去最多の197名の皆様に参加いただき、和やかな雰囲気の中、情報交換やご挨拶、お知り合いのご紹介など活発な交流が行われた。

最後は、岡本浩一郎副会長による中締めで、盛況の内に終了した。



イベント

2022年9月1日(木)

基調講演&納涼会「関西経済と今後のDX展望」 &親睦ゴルフコンペ

(主催：地域デジタル推進委員会)

地域デジタル推進委員会では、SAJの活動を全国へ広げるため、セミナーや各地域での交流会などを企画している。

2022年9月1日(木)には、大阪を会場として、経済産業省 近畿経済産業局局長 伊吹 英明 様をお招きし、「関西経済と今後のDX展望」と題したご講演いただき、ご講演後は、交流の場として納涼会(懇親会)を開催した。

当日は、26社43名の会員および近畿経済産業局の伊吹局長、黒木課長にも最後までご参加いただき、盛況のうちに終了した。

また、翌日は親睦ゴルフコンペを開催、20名の参加により、こちらも大変盛り上がりを見せた。

■セミナー「関西経済と今後のDX展望」

豊田崇克委員長(SAJ副会長)より、地域デジタル推進委員会の活動と、今後の地域体制についてのご説明があり、田中邦裕SAJ会長からも、SAJがこうして全国展開を進めることに期待しているとのご挨拶をいただき、セミナーがスタートしました。続いて、経済産業省 近畿経済産業局局長 伊吹英明様から「関西経済と今後のDX展望」と題したご講演をいただいた。伊吹局長のご講演の後、顔認証ビジネス研究会 高村主査、地域5G研究会 岩永様、DX推進研究会 竹原主査からそれぞれの研究会活動について説明があった。

■納涼会

セミナー終了後、会場を移して納涼会を開催した。田中会長より開会のご挨拶と乾杯のご発声を頂戴してスタート。歓談・お食事を挟んで全参加者より自己紹介をいただいた後、OSK日本歌劇団によるミニレビューショーで納涼会の盛り上がりはピークを迎えた。最後にSAJ理事である富田祐子副委員長に中締めのご挨拶をいただき、納涼会は終了した。

■親睦ゴルフコンペ

翌日は、宝塚ゴルフ倶楽部にて、20名の参加者による親睦ゴルフコンペを開催。当日は天気にも恵まれ、参加いただいた皆様は生き生きとプレーされていた。



参加者の皆さん



豊田委員長による開会挨拶



セミナー会場



近畿経済産業局局長 伊吹英明様



田中会長ご挨拶



会場の様子



富田副委員長による中締めご挨拶

イベント

2022年10月18日(火)～21日(金)

CEATEC 2022 開催報告

CEATEC 2022 は、10月1日(土)からオンラインでの開催を皮切りに、10月18日(火)から21日(金)の4日間、3年ぶりに幕張メッセにて開催された。

今回で23回目を迎えた「CEATEC」は、2020年と2021年のオンライン開催のノウハウを活用すべく、「オンライン会場」と「幕張メッセ会場」とのハイブリッド形式での開催となった。本年の開催規模は、出展者数562社/団体(うち海外:27カ国/地域から146社/団体)、開催期間中の登録来場者数は、合計で81,612名でした。また、10月1日(土)から10月31日(月)まで開催したオンライン会場の登録来場者数は、30,307名(うちオンライン会場のみへの来場者は9,534名)となった。

<<幕張メッセ会場>>

●パートナーズパーク

独自テーマを設定し、あらゆる産業・業種のパートナーとともに Society 5.0 の未来社会を体現する「共創」エリア。デジタル田園都市国家構想実現に向けて14のパートナーによるパビリオンと共創の取り組みを紹介するトークセッションを展開。パーク全体では、124の企業が集結した。

●キーテクノロジーエリア

Society 5.0 の実現を支える電子部品や電子デバイスおよびソフトウェアなどのテクノロジーを展開するエリア。

●トータルソリューションエリア

Society 5.0 の実現に向けた、あらゆるソリューションや製品全般を展開するエリア。

●グローバルエリア

アメリカ、インド、英国、カナダ・オンタリオ州、台湾、デンマーク、フランス、ポーランド、UAE がグローバルパビリオンを設置。各国の注目企業がオンライン会場と幕張メッセ会場でのコンファレンスを通じて最新情報を発信。

●スタートアップ&ユニバーシティエリア

80を超える国内外のスタートアップや大学の研究機関が出展。ピッチステージでは、参加するスタートアップや大学研究機関によるピッチと Plug and Play Japan による特別プログラムを開催。

<<オンライン会場>>

幕張メッセ会場に出展の企業・団体に加え、オンライン会場のみに参加する企業・団体の300以上のオンラインブースを公開。また、各産業界をリードする企業経営者や「新産業時代」を担うフロントランナーによる「Society 5.0 を支えるテクノロジー」や「持続可能な社会」「デジタル田園都市」などをテーマにしたセッションを開催。幕張メッセ会場とオンライン会場を繋ぐデジタルマップを通じ、幕張メッセ会場の開催前から開催後にわたって、各社の出展情報を掲載した。

- ・出展者数：562社/団体(2021年実績：314社/団体)
- ・来場者数：81,612名(2021年実績：83,288名)
- ・CEATEC 公式 Web サイトセッション数：686,197件



イベント

2022年11月12日(土)

第15回会長杯親睦会

(主催: 交流委員会)

2022年11月12日(土)、第15回会長杯親睦会が「真名カントリークラブ 真名コース」で開催された。当日は、天候にも恵まれた中、総勢19組76名の皆様にご参加いただいた。開会式では、最初に田中会長のご挨拶をいただき、交流委員会の村瀬委員長より、今回初参加となる方をご紹介いただいた後、ルール説明が行われた。その後、こぶしコース、つつじコース、くすの木コースに分かれて、プレーが開始された。

参加者は日頃の腕前を競いつつ、ビジネスやプライベートの話などで親睦を深めていた。プレー後は、交流委員会メンバーの進行により、懇親会とあわせて表彰式が行われ、第15回会長杯親睦会は、盛況のうちに終了した。



イベント

2022年11月14日(月)

第12回 SAJ 幹部と新入会員との懇親会

(主催: SAJ)

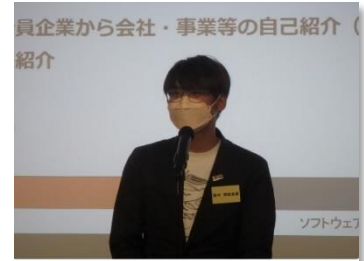
2022年11月14日(月)、2022年度上半期入会企業の皆様と総務委員会メンバーを中心とする幹部陣との第12回 SAJ 幹部と新入会員との懇親会が「東京虎ノ門グローバルスクエア コンファレンス」で開催された。

当日は、11社/19名の新入会員企業様にご参加いただき、幹部陣含め、総勢46名の参加となり盛況な懇親会になった。

会は、田中会長をはじめとした幹部陣の紹介から始まり、田中会長による乾杯のご挨拶、会の中盤で参加企業様の紹介と各社からの1分スピーチなども行われ、大変和やかな雰囲気の中、杉本副会長の中締めで終了した。

～当日参加企業(五十音順、敬称略)～

- ・ 有限会社アールスリーインスティテュート
- ・ 株式会社アイリッジ
- ・ イースト株式会社
- ・ 株式会社エッジコネク
- ・ 株式会社ビーティス
- ・ BBSakura Networks 株式会社
- ・ 株式会社 Branding Engineer
- ・ ユニインフォメーション株式会社
- ・ 株式会社 Rehab for JAPAN
- ・ 株式会社 ROBON
- ・ 株式会社ワークスアプリケーションズ・システムズ



田中会長のご挨拶



出席幹部紹介



ビジネスマッチング



JASPA・SAJ・JIET・IVIA・IIT 共催 ビジネスマッチング商談会

(全国ソフトウェア協同組合連合会主催「JASPA IT ビジネス創出展 2022」にて)

開催日：2022年11月14日(月)

会場：大崎ブライツコアホール

参加実績：274名(イベント全体)

2022年11月14日(月)、大崎ブライツコアホールにて3年ぶりにリアル開催された「JASPA IT ビジネス創出展」において、全国ソフトウェア協同組合連合(JASPA)、一般社団法人ソフトウェア協会(SAJ)、特定非営利活動法人日本情報技術取引所(JIET)、一般社団法人IT検証産業協会(IVIA)、一般社団法人東京都情報サービス産業協会(IIT)の5団体共催によるビジネスマッチング商談会が開催された。イベント全体で300名近くの方が来場され、ビジネスマッチング商談会にも多くの方が来場された。



ビジネスマッチング



第 146 回アライアンスビジネス交流会

(主催：交流委員会)

IT 企業同士のビジネスマッチングの場を提供し、互いにビジネスパートナーを見つけていただくことを目的とした交流会

開催日：2022 年 7 月 12 日 (火)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：36 社・団体 43 名



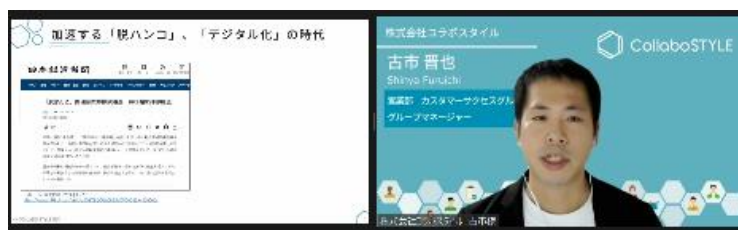
SAJ アライアンスビジネス交流会メンバー
JCSSA アライアンス推進委員会 副委員長
廣田 泰久氏 (日本事務器株式会社 事業
戦略本部 ホリゾンタルソリューション企
画部) 長)

プレゼンテーション1: [株式会社コロボスタイル](#)

テーマ：Excel のように簡単なワークフロー コラボフローで実現する脱ハンコ&ペーパーレス提案

発表製品分類：ワークフローシステム

発表製品名：コロボフロー



プレゼンテーション2: [株式会社カオピース](#)

テーマ：まだ間に合う！あきらめない！スモールオフィスのミニマムな DX 化

発表製品分類：AI-OCR

発表製品名：Yomokka

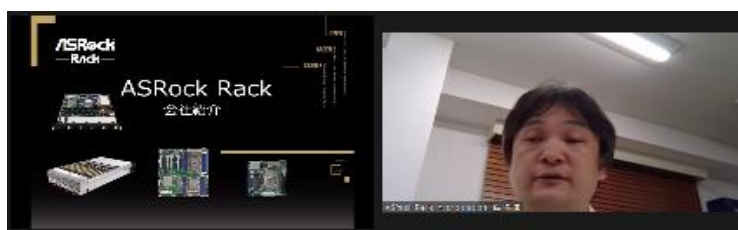


プレゼンテーション3: [ASIRock Japan 株式会社](#)

テーマ：ASRockRack の紹介と弊社 Server 製品について

発表製品分類：ASRockRack 製 Server 用マザーボードとベアボーン製品

発表製品名：WRX80D8-2T および 4U4G ベアボーン



プレゼンテーション4: [株式会社 Enlyt](#)

テーマ：企業課題 (人材確保・ブランド力向上・コスト削減・生産性向上など) が解決できる Netflix のような独自のインターネット TV 局が保有できる動画配信プラットフォーム「TVplum」のご提案

発表製品分類：企業価値向上に繋がる Netflix のような独自のインターネット TV 局が保有できる動画配信プラットフォーム

発表製品名：TVplum



ビジネスマッチング



第 147 回アライアンスビジネス交流会

(主催：交流委員会)

IT 企業同士のビジネスマッチングの場を提供し、互いにビジネスパートナーを見つけただくことを目的とした交流会

開催日：2022 年 9 月 20 日 (火)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：38 社・団体 70 名



SAJ 理事
交流委員会 副委員長
アライアンスビジネス交流会 リーダー
—
小川 敦 様 (アップデータ株式会社
代表取締役社長)

プレゼンテーション1：[日本ディクス株式会社](#)

テーマ：ニューノーマル時代におけるゼロトラストセキュリティ

発表製品分類：セキュリティ

発表製品名：簡易 SOC サービス



プレゼンテーション2：[クロノス株式会社](#)

テーマ：勤怠管理システム市場動向とクロノス社製品を取り扱うメリット

発表製品分類：基幹・勤怠管理システム

発表製品名：クロノス Performance・クロッシオン・テレタイム



プレゼンテーション3：[株式会社 Conoris Technologies](#)

テーマ：安心・安全な DX 推進に不可欠！クラウドサービスの次世代型リスク管理ツール「Conoris」のご紹介

発表製品分類：クラウドサービスのセキュリティリスク評価、管理

発表製品名：Conoris シリーズ



プレゼンテーション4：[株式会社アイネット](#)

テーマ：「パブリッククラウドからアイネットのクラウドへ 売上&利益拡大を実現されたアプリベンダ・SIer 様の事例紹介」

発表製品分類：IaaS

発表製品名：Next Generation EASY Cloud®(以下、NGEC)



ビジネスマッチング



第 148 回アライアンスビジネス交流会

(共催：交流委員会・しまねソフト研究開発センター)

IT 企業同士のビジネスマッチングの場を提供し、

互いにビジネスパートナーを見つけていただくことを目的とした交流会

開催日：2022 年 11 月 1 日 (火)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：33 社・団体 39 名



公益財団法人しまね産業振興財団
しまねソフト研究開発センター
(ITOC)
徳田 大剛 様

プレゼンテーション1：[株式会社 ERISA](#)

テーマ：認知症リスク検査の紹介と今後の可能性

発表製品分類：脳の画像データから、AI によって認知症の将来的な
リスクをお伝えするソフトウェアを用いたサービス提供

発表製品名：認知症リスク検査



プレゼンテーション2：[日本システム開発株式会社](#)

テーマ：画像認識 AI を活用する際に問題となる“学習用データ準備”の解決！

発表製品分類：画像処理 AI 用学習データ作成

発表製品名：画像認識 AI アノテーションデータ自動生成ツール



プレゼンテーション3：[ワンダフルフライ株式会社](#)

テーマ：新時代の DX ソリューションのスタイル

発表製品分類：システム導入・開発・クラウドサービス

発表製品名：(ワンダーロボ) ノーコードシステム開発エンジン



プレゼンテーション4：[株式会社アイリッジ](#)

テーマ：プロジェクトの要員計画・アサイン調整のお悩み解決！「Co-Assign (コアサイン)」のご紹介

発表製品分類：プロジェクトのアサイン管理ツール

発表製品名：Co-Assign (コアサイン)



ビジネスマッチング



第 149 回アライアンスビジネス交流会

(主催：交流委員会)

IT 企業同士のビジネスマッチングの場を提供し、

互いにビジネスパートナーを見つけていただくことを目的とした交流会

開催日：2022 年 12 月 7 日 (水)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：25 社・団体 32 名



SAJ 理事
交流委員会 副委員長
アライアンスビジネス交流会 リーダー
小川 敦 様 (アップデータ株式会社 代表取締役社長)

プレゼンテーション1：[株式会社ビビッド・ジャパン](#)

テーマ：サービスの紹介と該当する見込み客の紹介依頼

発表製品分類：インターネット上の入札公告・落札・応札結果情報提供サービス

発表製品名：入札情報速報サービス NJSS



プレゼンテーション2：[使えるねっと株式会社](#)

テーマ：『使える Cloud Backup』の OEM 販売パートナー募集について

発表製品分類：中小企業向け完全クラウド型バックアップ

発表製品名：使える Cloud Backup(クラウドバックアップ)



プレゼンテーション3：[株式会社 RPA NEXT](#)

テーマ：弊社サービスのご紹介とアライアンス例

発表製品分類：RPA (ロボティックプロセスオートメーション) 導入支援サービス、IT 人材育成サービス

発表製品名：・RPA (ロボティックプロセスオートメーション) 導入支援サービス

- ・DX (デジタルトランスフォーメーション) 導入支援サービス
- ・RPA (ロボティックプロセスオートメーション) 人材育成サービス：UiPath (ユーアイパス)、WinActor (ウィンアクター)、PowerAutomate (パワーオートメイト)

- ・DX (デジタルトランスフォーメーション) 人材育成サービス：PowerApps (パワーアプス)




会員向けビデオアーカイブ

●会員向けビデオアーカイブとは...

セミナー当日に受講できなかった方や、受講後に社内への情報共有として活用したい方向けに、SAJで開催したセミナーや講演会、説明会等で撮影したビデオや当日資料を視聴・閲覧出来るページです。

※視聴・閲覧はSAJ会員限定となっております。

※タイトル冒頭に  のアイコンがあるセミナーは、アイコンをクリックするとアーカイブページに遷移いたします。遷移後に要求されるユーザ名とパスワードは、毎月2回会員向けに配信させていただいておりますSAJ NEWSに記載されています。



SAJについて 委員会・研究会 セミナー・イベント 政策提言・ガイドライン 会員専用 >

■ リアルメタバースが拡張する都市と社会構造 (開催日:2022年7月20日)

技術委員会主催 リアルメタバースが拡張する都市と社会構造 資料ダウンロード(PDF/4.0MB)	 <p>リアルメタバースが拡張する都市と社会構造 日時: 2022年 7月20日 (水) 15:00~16:30</p>
------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

■ リーガルオペレーション革命 (開催日:2022年6月29日)

法務・知財委員会主催 リーガルオペレーション革命 ～法務DXにおける課題と解決方法～	 <p>リーガルオペレーション革命 2022年 6月29日 15:30~16:45</p>
--------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

情報提供セミナー・説明会

総務

ワクワクする学びの場創造研究会会合（第2回 / 第3回）

（主催：ワクワクする学びの場創造研究会）

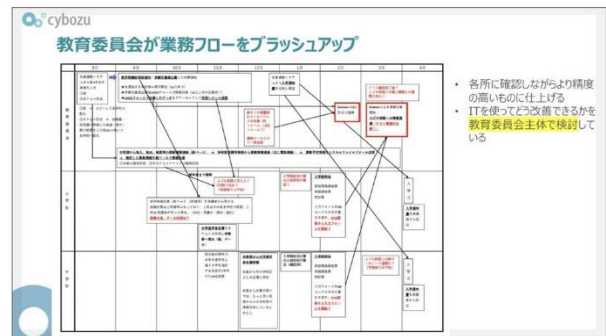
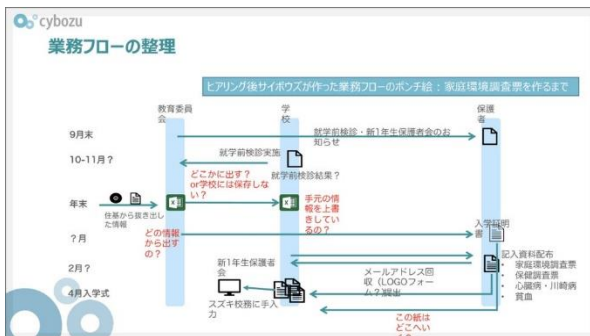
開催日：第2回：2022年09月07日（水）

第3回：2022年12月07日（水）

会場：オンライン（Zoom）

参加実績：第2回：4社・校6名 / 第3回：5社・校8名

講演概略：WCCEカンファレンス開催報告、三島市教育委員会の業務効率化事例、メンバー情報交換



情報提供セミナー・説明会

政策

第 40 回経営力向上セミナー

ソーシャルスタイルの概要と活用方法～苦手な相手やお客さまを、味方につける！～

(主催：経営力向上研究会)

開催日：2022年7月4日(月)

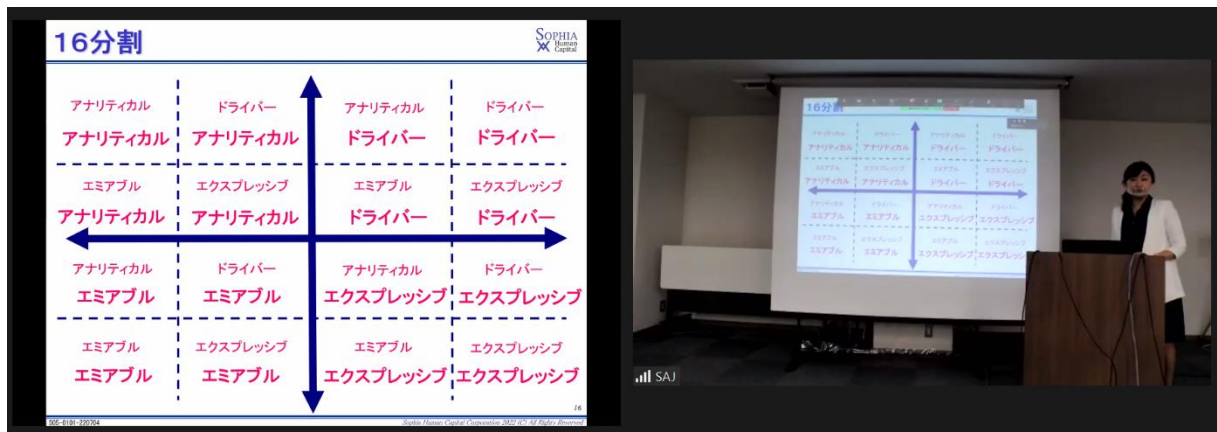
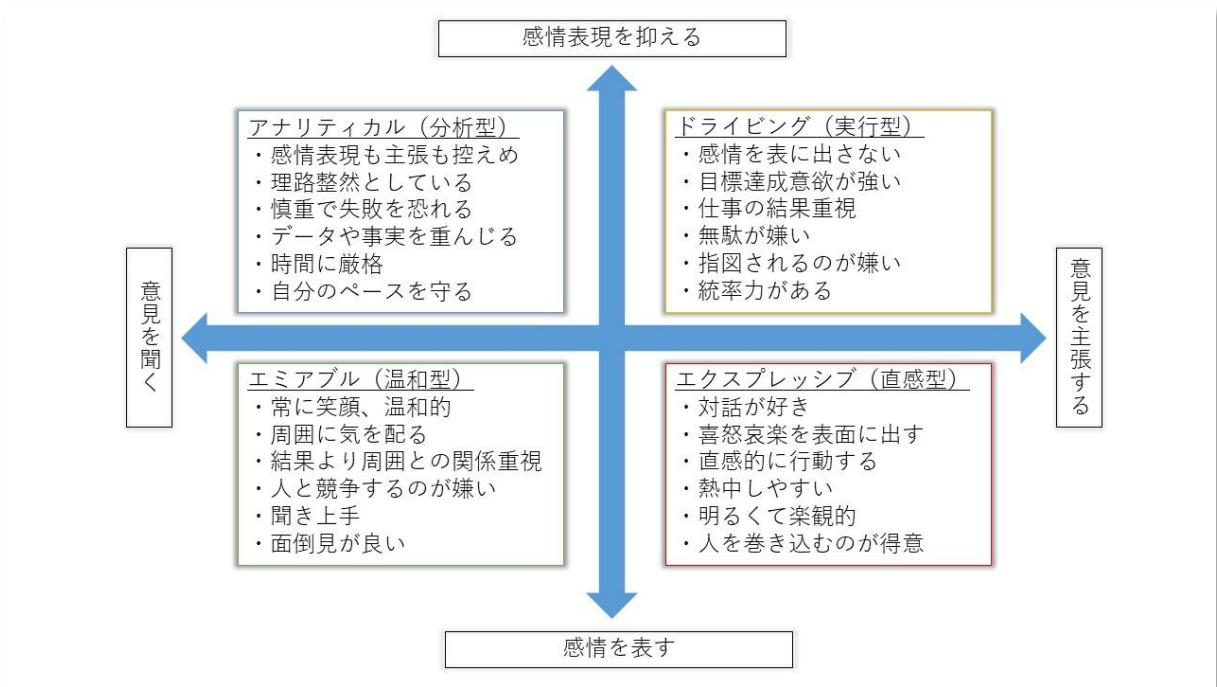
会場：オンライン (Zoom)

参加実績：15社 27名

タイトル1：ソーシャルスタイルの概要と活用方法～苦手な相手やお客さまを、味方につける！～

講演者2：室伏 順子氏 (ソフィア ヒューマン キャピタル株式会社 代表取締役)

講演概略：「ソーシャルスタイルの概要と活用方法」についてご説明いただいたのち、1チーム3名に分かれてグループディスカッションを実施。



情報提供セミナー・説明会

政策

第41回経営力向上セミナー

“主体的に学ぶ”若手人材をどのように育てるか

—Z世代のコミュニケーションとモチベーションから考える—

(主催：経営力向上研究会)

開催日：2022年10月27日(木)

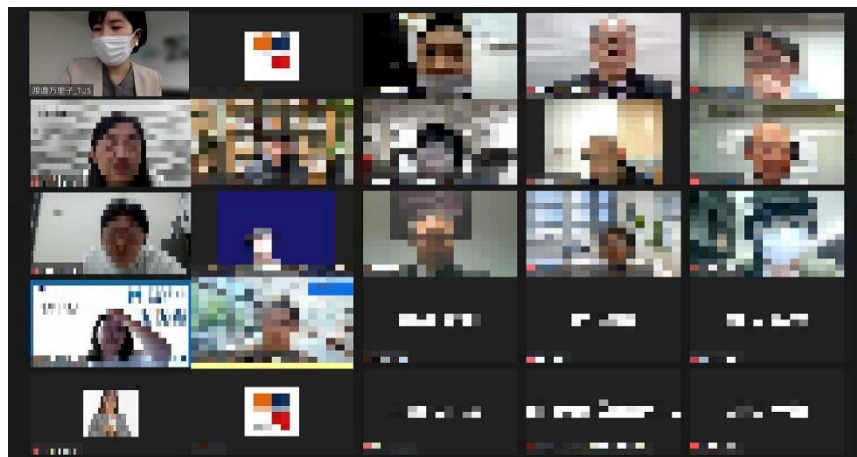
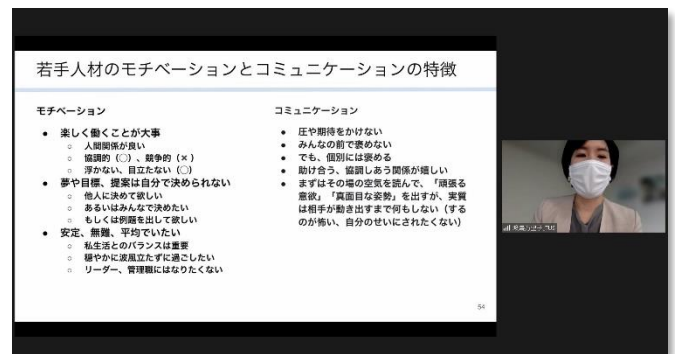
会場：オンライン (Zoom)

参加実績：27社34名

タイトル：第41回経営力向上セミナー “主体的に学ぶ”若手人材をどのように育てるか
—Z世代のコミュニケーションとモチベーションから考える—

講演者：渡邊 万里子氏 (東京理科大学 経営学部 講師)

講演概略：Z世代のコミュニケーションやモチベーションに関する最新の知見を概観しながら、参加者同士でディスカッションを実施し、最後に東京理科大学の学生さん達による意見を述べていただいた。



情報提供セミナー・説明会

法務・知財

保守契約の課題に関する意見交換会

(共催：Software ISAC/法務・知財委員会)

開催日：2022年9月7日(水)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：47社 89名

タイトル1：サイバーセキュリティと契約について

説明者：平野 高志氏 (SAJ フェロー/ブレイクモア法律事務所)

講演概略1：保守契約で対応できていない問題の所在、契約書作成にかかる誤解、サイバーセキュリティについての危機感の欠如などについて考察。

タイトル2：半田病院における保守契約の課題について

説明者：板東 直樹氏 (SAJ 理事/Software ISAC 共同代表)

講演概略2：ランサムウェア被害事例を紹介し、保守契約のグレーゾーン、ベンダー・ユーザー間の論点、意見交換のポイントなどについて説明。

タイトル3：Firewall・UTM 機器の保守サポートについて

説明者：伊藤 昇氏 (株式会社大塚商会)

講演概略3：一般論としての Firewall・UTM 機器の保守範囲の解説、欧米と日本の契約の仕方の違い、ハード保守と運用保守の違いと認識の齟齬などについて説明。

タイトル4：ディスカッション



M&A の基本～成功と失敗を分けるポイントとは～

(主催：法務・知財委員会)

開催日：2022年12月26日(月)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：26社 29名

タイトル1：M&A 取引における法務デューデリジェンス・契約の初歩的ポイント

講演者：黒住 哲理氏 (東京丸の内法律事務所 弁護士)

講演概略1：M&A 取引を行うにあたって、対象会社に対してデューデリジェンスを実施し、必要な契約を締結するにあたっての初歩的なポイントや留意点について、実際に携わった案件などに照らして、ポイントを絞って分かりやすく解説。

タイトル2：最近の法務の旬な話題

講演者2：平野 高志氏 (SAJ フェロー/ブレイクモア法律事務所)

講演概略2：近年、医療機関の情報システムでランサムウェア被害が多発おり、なぜこういった被害が起こったのか、ユーザー・ベンダー間の契約上の問題と今後の契約のありかたについて解説。

情報提供セミナー・説明会

人材

多様な人材と多様な働き方で柔軟な組織づくりを！

(主催：人材委員会)

開催日：2022年7月11日(月)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：30社63名

タイトル1：「外国人エンジニアを活用した英語を話さない次世代開発の仕組みづくり」

講演者1：谷口 隼人氏 (株式会社ワークスアプリケーションズ・システムズ グローバル営業グループ長)

講演概略1：当日は講師がインド・チェンナイよりオンライン会議室にアクセスいただき、対談形式で「英語を話さずになぜ開発できたのか。」「インド側が心がけていたことは何か。」「英語での開発に二の足を踏む日本企業への提案」について、事例を交えて説明。

タイトル2：デジタル社会を支えるダイバーシティ採用支援のご紹介

講演者2：笹岡 賢二郎 (一般社団法人ソフトウェア協会 専務理事)

講演概略2：SAJ が受託した「就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業」では、異業種経験者など多様な人材から IT 適性を備えた人材を選別し、初級 IT スキルを教育することで企業の採用プロセスのファーストステップを代行するとともに、こうした人材をご紹介することで、各社のダイバーシティ採用を支援している。今回は笹岡専務理事より本事業を活用した採用までの流れについて説明。



NO	学習項目	学習内容	学習項目の狙い	日数
1	システム運用の基礎知識	システム運用の基礎知識、システム運用の重要性、システム運用の役割、システム運用の責任、システム運用のスキル	システム運用の基礎知識を習得し、システム運用の重要性や役割、責任、スキルを理解する。	1日
2	システム運用の応用知識	システム運用の応用知識、システム運用の応用スキル、システム運用の応用責任、システム運用の応用スキル	システム運用の応用知識を習得し、システム運用の応用スキルや責任、スキルを理解する。	1日
3	システム運用の高度知識	システム運用の高度知識、システム運用の高度スキル、システム運用の高度責任、システム運用の高度スキル	システム運用の高度知識を習得し、システム運用の高度スキルや責任、スキルを理解する。	1日

第1弾 生産性向上支援訓練

(主催：人材委員会)

開催日：2022年8月2日(火)～3日(水)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：11社20名

タイトル：第1弾「プロジェクト管理技法の向上」

講演者：志村 智子氏 (株式会社インフォテック・サーブ)

講演概略：プロジェクトタイプを再考し、的確な業務指示を行うとともに人材を育成する、「型」に固執しないプロジェクト管理とマネジメントの習得を目的とした研修を開講。

第2弾 生産性向上支援訓練

開催日：2022年2022年9月15日(木)、22日(木)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：11社20名

タイトル：第2弾「現場社員のための組織行動力向上」

講演者：樋口 匠氏 (株式会社 Globable)

講演概略：企業の仕組みや、業界の背景について理解を深め、経営者の視点を理解し、上司の補佐や後輩の育成を行い、ビジネス感覚を養うことにより、自ら主体的に社内の問題発見、業務改善を現場から発信するために必要な知識、技能を習得することを目的とした研修を開講。

情報提供セミナー・説明会

人材

情報関連資格者を増やして会社を強くする！～資格取得の促進と有資格者の採用について～

(主催：人材委員会)

開催日：2022年8月25日(木)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：29社 50名

タイトル1：「基本情報技術者試験 (FE) 等の通年試験化に伴う変更内容について」

講演者1：岩男 英明氏 (独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) IT人材育成センター 国家資格・試験部 作成グループリーダー)

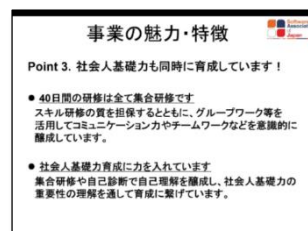
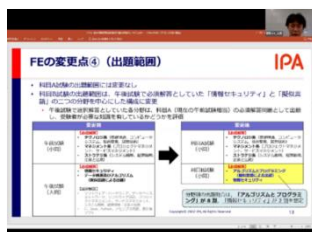
講演概略1：国家試験である情報処理技術者試験において、基本情報技術者試験 (FE) 及び情報セキュリティマネジメント試験 (SG) が2023年4月から通年実施の試験になる予定である。それに伴う変更内容の概要について紹介。

タイトル2：「DX推進に相応しいIT人材の見極めと育成プログラムのご紹介」

講演者2：笹岡 賢二郎 (一般社団法人ソフトウェア協会 専務理事)

講演概略2：SAJが受託した「就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業」では、異業種経験者を含む多様な人材からDX社会を支えるデジタル人材を育成している。

異業種経験者は、それまで培ったコミュニケーション力や業務遂行力などの社会人としての基礎力に加えてIT知識を習得することで、またIT業界経験者も改めて基礎学習から学びそれまでの経験知を体系化することで、有用なデジタル人材を育成し輩出している。今回は本事業で育成される人物像と、その活用方法について説明。



第3弾 生産性向上支援訓練

開催日：2022年11月10日(木)～11日(金)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：8社 20名

タイトル：第3弾「組織力強化のための管理」

講演者：志村 智子氏 (株式会社インフォテック・サーブ)

講演概略：組織目標の達成に向けた業務の効率化、価値を創出するためにどのような風土、文化が必要なのかについて演習を交え、組織における管理者の役割や、組織力の強化のための具体的な手法を理解し、強い組織の構築手法の習得を目的とした研修を開講。

第4弾 生産性向上支援訓練

開催日：2022年11月29日(火)～30日(水)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：8社 20名

タイトル：第4弾「プロジェクト管理技法の向上2」

講演者：志村 智子氏 (株式会社インフォテック・サーブ)

講演概略：前回講座でも好評だった「プロジェクト管理技法の向上」研修講座。そもそもプロジェクトとは何か？というところから、かみ砕いて、仕事の段取り力を高めるとともに、的確な業務指示を行う為の手法を習得することを目的とした研修を開講。

情報提供セミナー・説明会

人材

新卒・ミドル新卒の採用力を上げよう！

(主催：人材委員会)

開催日：2022年11月24日(木)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：26社 50名

タイトル1：「ダイバーシティを支援するミドル新卒採用プログラムのご紹介」

講演者1：笹岡 賢二郎 (一般社団法人ソフトウェア協会 専務理事)

講演概略1：SAJが受託した「就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業」では、異業種経験者を含む多様な人材からデジタル人材を育成し、「ミドル新卒」としてIT業界に輩出している。異業種経験者は、それまで培ったコミュニケーション力や業務遂行力などの社会人としての基礎力に加えてIT知識を習得することで、またIT業界経験者も改めて基礎から学びそれまでの経験知を体系化することで、新たなキャリアをスタートさせ有用なデジタル人材として活躍している。今回は本事業で育成する人物像と、このプログラムの活用方法について説明。

タイトル2：「IT系専門学生の魅力と価値 ～新卒採用力UPの仕方～」

講演者2：和久 義忠氏 (株式会社グッドニュース 執行役員)

講演概略2：専門学校向け新卒採用の最近の傾向と、IT系専門学校の人材の魅力、新卒採用のポイントなどを、事例を交えながら分かりやすく説明。



実績	
● 資格取得率82.1% (第8回訓練までの実績)	
437名の訓練生を教育し、310名が該当資格を取得	
IT検証技術者 108名	
システム運用技術者 202名 (内、CCNA取得者72名)	
● 就職率53.1% (第7回訓練まで、訓練終了3か月内の実績)	
139名がIT企業に就職	
現在、	
第8回では48名が就職活動中!	
IT検証 14名 (東京9名、大阪5名)	
システム運用 34名 (東京21名、大阪13名、内 CCNA取得者 東京10名、大阪7名)	
第9回では58名が受講中!	第9回コースは12月より就職支援開始!
IT検証 22名 (東京14名、名古屋8名)	
システム運用 36名 (東京16名、大阪20名)	

情報提供セミナー・説明会

人材

就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業

第7回、第8回、第9回訓練生対象 合同就職面接会 (3回開催)

(主催：SAJ キャリアサポートセンター)

厚生労働省からの委託を受け、就職氷河期世代の方向けの短期訓練等の事業を実施中。

訓練を修了した方を対象に下記の通り合同就職面接会をオンラインで開催。

- 開催日：第7回訓練生対象 平日開催コース 2022年7月15日(金)
土日開催コース 2022年8月5日(金)
※IT 検証技術者・平日(東京)、システム運用技術者・平日(名古屋)、
システム運用技術者・土日(東京)
- 第8回訓練生対象 2022年9月16日(金)
※IT 検証技術者(東京・大阪)、システム運用技術者(東京・大阪)
- 第9回訓練生対象 2022年12月16日(金)
※IT 検証技術者(東京・名古屋)、システム運用技術者(東京・大阪)

会場：オンライン (Zoom)

流れ：①合同就職面接会前 事前に面接者を決定

以下の3つのパターンからマッチングをした修了生と面接

パターン1…参加企業が訓練生のプロフィールを確認し選択

パターン2…参加企業に面接を希望する訓練生を推薦

パターン3…事務局が訓練生を選択し参加企業へ推薦

②合同就職面接会 当日 (AM)

企業説明 (15分/1社)

参加訓練生全員に会社説明

③合同就職面接会 当日 (PM)

面接 (面接時間約30分/1名)

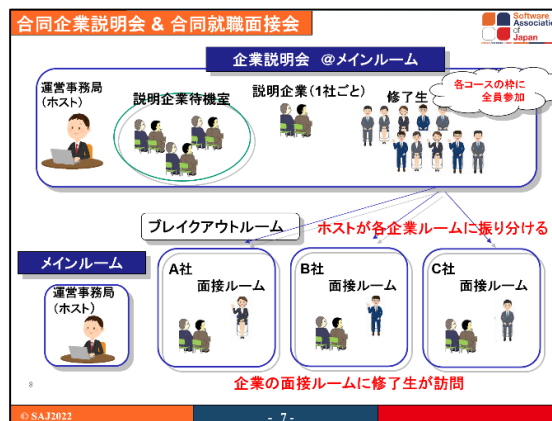
予め決められた面接枠に沿って参加企業と訓練生の面接

④合同就職面接会後

可否を見極め、各社の次の採用プロセスへ進む

参加実績：第7回訓練生対象

平日開催コース	企業	15社
	訓練生	23名
土日開催コース	企業	10社
	訓練生	9名
第8回訓練生対象	企業	33社
	訓練生	39名
第9回訓練生対象	企業	33社
	訓練生	35名



情報提供セミナー・説明会

人材

就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業

人材活用セミナー（3回開催）

（主催：SAJ人材委員会・SAJキャリアサポートセンター）

厚生労働省からの委託を受け、就職氷河期世代の方向けの短期訓練等の事業を実施中。

訓練を修了した方を対象に就職支援を行っており、新規採用企業開拓のため、SAJ人材委員会と共催で、以下の通りセミナーをオンラインで開催。

開催日：2022年7月11日（月）開催
 2022年8月25日（木）開催
 2022年11月24日（木）開催

会場：オンライン（Zoom）

講演者：笹岡 賢二郎（SAJ専務理事）

タイトル：2022年7月11日（月）開催
 デジタル社会を支えるダイバーシティ採用支援の紹介
 2022年8月25日（木）開催
 DX推進に相応しいIT人材の見極めと育成プログラムの紹介
 2022年11月24日（木）開催
 ダイバーシティを支援するミドル新卒採用プログラムの紹介

参加実績：2022年7月11日（月）開催 30社63名
 2022年8月25日（木）開催 29社50名
 2022年11月24日（木）開催 26社50名

就職氷河期人材育成事業（厚労省受託事業）

3年間でIT検証技術者及びシステム運用技術者を1千名以上を育成し、正社員化（常用雇用者※）を目指す

※雇用契約において雇用期間の定めがない又は6か月以上の雇用期間が定められているものを指す。

背景：バブル崩壊後に高校や大学を卒業した「就職氷河期」世代、35歳から55歳未満の不安定な就労状況の人を対象。他の世代に比べ国内外の厳しい経済情勢の影響で不遇な労働状況に置かれたとみて、年齢層を絞る対策が必要。

令和2年度	令和3年度	令和4年度
【IT検証技術者】 【VECC試験レベル1】 教育訓練：産学（2か月）+職場見学 講座開発（半年）+40名×2回 （東京 計80名）	【IT検証技術者】 計240名 40名3か所 計6回 （東京4、名古屋1、大阪1）	【IT検証技術者】 計170名 40名3か所 計5回 （東京3、名古屋1、大阪1）
【システム運用技術者（CCNA等）】 教育訓練：産学（2か月）+職場見学 講座開発（半年）+20名×3か所 （東京、大阪、名古屋 計60名）	【システム運用技術者】 40名3か所 計7回 （東京（3回）、名古屋（2回）、 大阪（2回） 計280名）	【システム運用技術者】 40名3か所 計6回 （東京（3回）、名古屋（1回）、 大阪（2回） 計200名）

※併し、入り口で面接+論理テストを行う

DXとソフトウェア

○ソフトウェアの役割増大⇒ソフトウェアの品質が大事⇒IT検証技術者が活躍！
 ○IoT、テレワークの普及⇒ネットワークの品質が大事⇒システム運用技術者が活躍！

DX (Digital Transformation)
 データの分析・連携・利活用⇒新たなサービス開発⇒価値創造
 +業務改善

テクノロジー
 AI IoT ビックデータ センサー セキュリティー etc

ソフトウェア → 役割拡大

ネットワーク (IoT)

事業の魅力・特徴

Point 1. 御社のダイバーシティ採用を支援します！

- 修了生の約半数がIT関連以外の業界業種の経験者です
多様な業務経験や知見が社内のダイバーシティを促進させます。
- 今後DX関連の成長市場経験者の採用機会です
今後DX関連の市場の成長が見込まれる主要分野である販売、飲食、教育、輸送などの業界経験のある、多様かつ意欲的な「ミドル新卒」が確保できます。
- 効率的な選考が可能です
修了生に直接企業の魅力を紹介したり、修了生のプロフィールを確認して面接を調整するなど効率的かつ効果的な選考が可能です。

活用方法

1. 求人票を提出し直接募集 SAJは無料職業紹介業の認可を取得しています！
以下の方法で応募に繋がります
・求人票を事業の告知サイトに公開し広く募集する
・研修会場へ掲示し現訓練生に直接告知する
・就職支援担当者が修了生に個別に求人案件として紹介する
2. 合同就職面接会に参加し効率的に面接
研修終了時に開催するオンライン合同就職面接会で直接選考に繋がります
・企業紹介（15分/社）で自社の魅力を直接伝えられます
・事前に参加者のプロフィールを見て面接希望を出せます
3. 公開プロフィールを確認し紹介希望
会員限定のページから就職活動中の修了生のプロフィールを確認し選考希望を出せます
・希望する修了生を事務局に紹介依頼、直接選考を設定します

情報提供セミナー・説明会

人材

就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業

第9回訓練生（令和4年10月開講）募集のプログラム説明会（3回開催）

（主催：SAJ キャリアサポートセンター）

主 旨：訓練参加を希望する応募者に対して、当事業の説明をおこない訓練への理解度を高め訓練参加人数を増やすこと、選考中の辞退率を低下させる。

第9回訓練生(令和4年10月開講)募集

開催日：第1回 2022年7月26日（火）

第2回 2022年8月18日（木）

第3回 2022年9月1日（木）

会 場：オンライン（Zoom）

参加実績：127名

- 内 容：1. 募集コースのご案内
2. 協会のご紹介
3. プログラムの特徴
4. 各コース説明（IT 検証技術者コース／システム運用技術者コース）
5. 卒業生の声（動画視聴）
6. 質疑応答

コース概要 IT検証技術者コース

1. 育成する人材像

ソフトウェアテスト（以降 テストと呼ぶ）の現場において、テスト実行・不具合報告を行うテスト実行者を育成し、テスト・検証の専門企業に正社員として入社した後は、さらなるキャリアアップが目指せる人材

2. 得られる知識・スキル・資格

テスト実行に必要な技術者としての専門知識、コミュニケーション能力および社会人知識を習得し、一般社団法人 IT検証産業協会（IVIA）が認定する IT検証技術者レベル1 の資格取得を目標とする

© SAJ2022 - 16 -

コース概要 システム運用技術者コース

1. 育成する人材像

監視業務、システム運用操作、システム環境構築技術者向けの運用環境（ネットワーク環境、サーバー、仮想化、セキュリティ等）に関する知識を段階的に習得し、システムの運用管理者を目指す。

2. 得られる知識・スキル・資格

【資格】日本ビジネス技能検定協会
情報ネットワーク・セキュリティ検定1級
Cisco社 CCNA

【知識・スキル】
業界知識、仕事の内容、ICT基礎、ネットワーク、セキュリティ、試験対策、企業訪問による仕事理解、社会人基礎力

© SAJ2022 - 24 -

訓練、就職支援の特長

資格取得ができます！
デジタル化やテレワーク時代で活躍できるソフトウェアのテスト人材やネットワーク技術者の入門的資格を取得できます。
就職後のキャリアアップが不可欠、ゴールではなくスタートです！

丁寧な選考で訓練生のモチベーション配慮！
論理テスト～面接～キャリアコンサルティング面談を行い、新しいキャリアをスタートする意欲を支えます。

対面方式で質の高い訓練を提供！
コロナ対策に万全を期した上で原則対面方式でのきめ細かく、質の高い訓練を実施しています。過去7回の訓練でも感染者はでていません。

効果的で充実した就職支援！
コロナ対策に万全を期した上で原則対面方式でのきめ細かく、質の高い訓練を実施しています。過去7回の訓練でも感染者はでていません。

SAJは無料職業紹介業の認可を取得し、合同企業面接会を開催したり採用希望企業に訓練生を直接紹介しています。
一履歴書、面接などの添削や指導、社会人基礎力の自己診断なども実施
採用企業にとっても、訓練生を正社員として雇った場合は、特定求職者雇用開発助成金（就職氷河期世代安定雇用実現コース）が申請できメリット！
（助成金額は1人当たり企業規模により50～60万円）

© SAJ2022 - 11 -

就職支援 求人実績

当訓練生への求人掲載企業数
IT検証技術者コース 36社
システム運用技術者コース 29社
※上場企業や従業員1000名を超える大手企業、全国に拠点がある企業、30年以上の実績がある企業など多くの企業が皆さんを待っています。

就職先企業実績の一例
アイピーシー株式会社
株式会社エス・キュー・シー
日本ナレッジ株式会社
ネクストウェア株式会社
株式会社ピーエスシー
株式会社フォーラムエイト

※当訓練の修了生を開催ごとに採用されている企業や累計10名以上採用している企業など多くの企業が積極的に採用しております。

© SAJ2022 - 14 -

情報提供セミナー・説明会

国際

台湾 CISA（中華民国情報ソフト協会）とのビジネスマッチング

(国際委員会)

開催日：2022年7月14日（木）

会場：オンライン（Zoom）

プログラム：

- ・ CISA/SAJ 双方代表挨拶 吉田 一也 氏（SAJ 国際委員会副委員長）
- ・ 日台の DX 状況に関する報告 竹原 司 氏（SAJ DX 推進研究会主査）
- ・ 製品・サービスのプレゼン

SAJ：3社 / CISA：4社

参加実績：SAJ/CISA 合計 63 名（登壇者含む）

講演概略：国際委員会では、台湾 CISA（中華民国情報ソフト協会）と協働で、両国の DX 化の現状報告と DX 化を推進する製品・サービスのビジネス・マッチング企画をオンラインで開催した。

両国における中小企業の DX 化状況の報告があった後、台湾 CISA、SAJ それぞれから DX 化を推進する製品・サービスを紹介、気になる企業・製品とは後日個別にマッチングを実施。



吉田副委員長挨拶



竹原主査と台日産業連携推進 TJPO 陳龍主任の対談

情報提供セミナー・説明会

国際

IT 関連団体共催 緊急特別セミナー

「IT・デジタル強国ウクライナの背景と日本との協業の可能性を探る」

開催日：2022年8月1日（月）

会場：浜松町コンベンションセンター メインホール

共催団体：NPO 法人 IT サービスマネジメントフォーラムジャパン/IIBA 日本支部

NPO 法人 CIO Lounge/一般社団法人ソフトウェア協会

NPO 法人 CeFIL デジタルビジネスイノベーションセンター

後援：駐日ウクライナ大使館、経済産業省、デジタル庁等(予定)

特別協賛：Eleks ジャパン

講演概略：SAJ ではウクライナに対して IT 関連 5 団体のひとつとして人道的支援を目的とした寄付を行い、この 5 団体が共催でウクライナに関するセミナーを開催。

今回のウクライナの戦火で、デジタル強国ウクライナをいかに発揮して国及び人々を守り続けているウクライナの IT 産業の強みの背景について理解を促すとともに、戦火の中でもプロジェクトを推進している BCP（事業継続プログラム）などの事例も紹介。さらに、ウクライナの先進企業・人材と日本との将来的な協業の可能性についても紹介。

プログラム：

1. 開会挨拶 西野 弘 氏（特別セミナー開催プロデューサー IT サービスマネジメントフォーラムジャパン理事長 NPO 法人 CeFIL デジタルビジネスイノベーションセンター副理事長）
2. 来賓挨拶 セルギー・コルスンスキー 氏（駐日ウクライナ特命全権大使 大使閣下）
3. 来賓挨拶 経産省、デジタル庁などの挨拶
4. ビデオ特別メッセージ ミハイロ・フョードロフ 氏（ウクライナ副首相 IT 担当 副首相）
5. 共催団体の代表による紹介
6. 特別講演 「ウクライナ IT 産業の状況と BCP プログラムについて」
アンドリュー・クルーパ 氏（Eleks HD CEO）
7. タイトル1 「ウクライナ IT 企業事例」
アンディ・クリフトンカーフ 氏（Eleks グループ Eleks HD CBO Director）
田井 昭 氏（Eleks ジャパン株式会社 COO）
8. タイトル2 「IT プロフェッショナルの状況と日本とのオフショアモデルの可能性」
オルグ・パビチェンコ 氏（Novaience 代表）
9. 終了挨拶 荻原 紀男 氏（一般社団法人ソフトウェア協会 名誉会長）

情報提供セミナー・説明会

技術

水産物流通の特性と水産流通適正化法に関わる課題

(主催：スマート水産業研究会)

開催日：2022年6月23日(木)

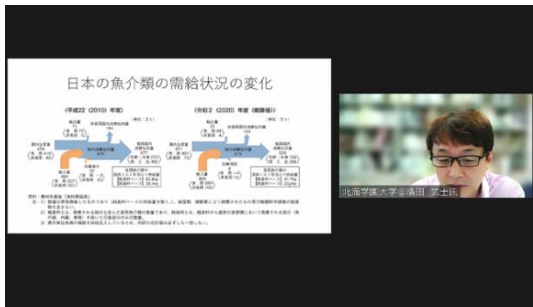
会場：オンライン (Zoom)

参加実績：13社 17名

タイトル：水産物流通の特性と水産流通適正化法に関わる課題

講演者：濱田 武士 氏 (北海学園大学 経済学部 教授)

講演概略：水産物流通は供給の不安定性や在庫期間の限定性がある、また多段階であり広域的な情報のネットワークがある、成り立っている。その解説をすると共に水産流通適正化法の課題について解説。



リアルメタバースが拡張する都市と社会構造

(主催：技術委員会)

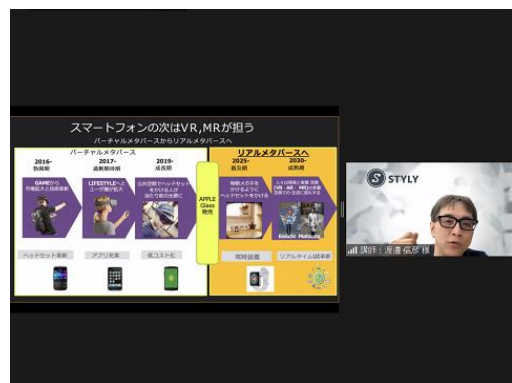
開催日：2022年7月20日(水)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：41社 84名

講演者：渡邊 信彦 氏 (株式会社 Psychic VR Lab 取締役 COO)

講演概略：メタバースは今後リアルメタバースへと変化し、いよいよ都市との融合が始まる。それが私たちの生活をどう変えるのか、ビジネスをどう変えるのか、最新情報とともに説明。



情報提供セミナー・説明会

技術

AIによる判断の根拠を「見える化」する技術

(主催：AI・量子計算技術研究会)

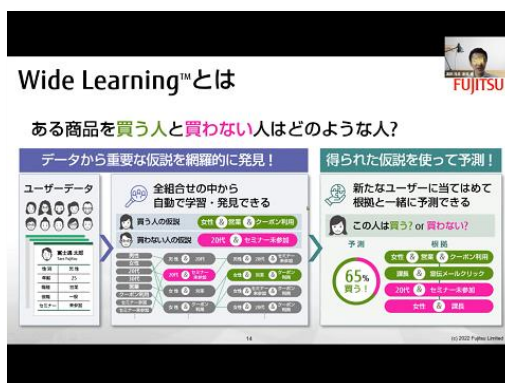
開催日：2022年7月20日(水)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：22社44名

講演者：浅井 達哉氏 (富士通株式会社 研究本部人工知能研究所・シニアリサーチャー)

講演概略：AIによる判断の理由、根拠を提示することで、利用者がAIの判断をよく理解し、施策立案や意思決定にAIを活用しやすくするための「説明可能なAI」や「発見するAI」の技術と適用事例を紹介。



Web3.0で何がかわるのか？ 喧騒と技術の実態

(主催：AI・量子計算技術研究会)

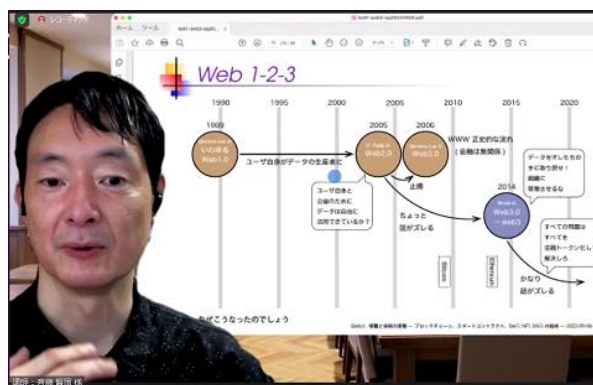
開催日：2022年9月8日(木)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：38社57名

講演者：斎藤 賢爾氏 (早稲田大学 大学院経営管理研究科・教授)

講演概略：一気にパスワードとなった「Web3」をテーマにブロックチェーン研究の第一人者である斎藤賢爾氏より、Web3とそれにまつわるブロックチェーン・スマートコントラクト・DeFi・NFT・DAOといった、それぞれの技術に焦点をあて、その実態を解説。



情報提供セミナー・説明会

技術

量子コンピューターの発展経緯とこれからの展望

(主催：AI・量子計算技術研究会)

開催日：2022年9月28日(水)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：15社17名

講演者：渡辺 海氏 (株式会社 QunaSys ビジネスディベロップメント)

講演概略：量子コンピューターの発展してきた歴史と足下の状況を概説した上で、今後の発展可能性としてどのようなことが考えられるかを、各プレイヤーの取り組みも交えて説明。



情報提供セミナー・説明会

技術

<20~30 代向け> 若手社員向けイノベーション思考を育むクリエイティブ研修

(主催：技術委員会)

開催日：2022年10月31日(月)～11月5日(土)

会場：静岡県袋井市(一部 Online)

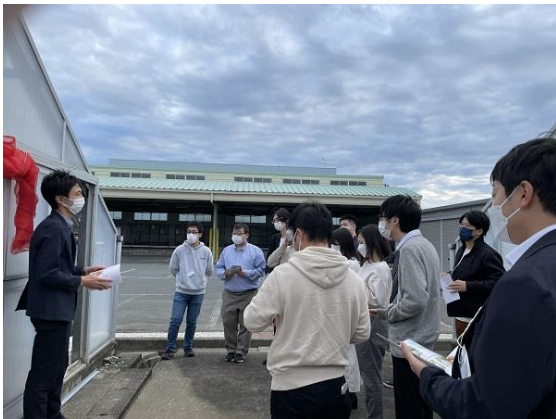
参加実績：8社15名

講演者：水野 信也氏(静岡理科大学 教授)

若原 強氏(ヤマハ発動機株式会社 クリエイティブ本部ブランドマーケティング部長)

晝田 浩一郎氏(株式会社官民連携事業研究所 COO)

講演概要：20～30代の若手社員を対象に、新事業立案におけるプロセスや新しい考え方・視点を学び、個人の成長を促すとともに、社外の人とのネットワーク形成を目的に、静岡県袋井市協力のもと、研修を企画・開催。研修期間中にデータサイエンス・イノベーション思考・デザイン思考などを学びながら、地域課題解決のアイデアソンを実施。最終日には、参加者上席も現地・オンラインで参加し、成果発表会を聴講、参加者たちが研修中に考案したアイデア・計画を評価・採点のうえ表彰。



情報提供セミナー・説明会

技術

第9回 UXクリニック～UI/UXに関する悩みを専門家に無償相談～

(主催：UX Tech 研究会)

開催日：2022年11月9日(火)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：3社限定

タイトル：UXクリニック～UI/UXに関する悩みを専門家に無償相談～

メンター：安藤 幸央氏 (株式会社エクサ Smart システム開発本部・企画部/米国Google公認 デザイン スプリントマスター)

講演概略：UI/UXに関する相談から、アプリケーションの認知度向上の方法、UXの学習方法、周囲への理解を促すための情報収集・提示の必要性など、幅広い視点からアドバイスが行われた。

参加者感想：

- コンテンツが無い場合の表示の仕方を改善したり、問い合わせがすぐに行えるようなインタラクションを考えたり等、具体的なアクションにつながるご助言も多数頂けましたので、順次プロダクトへ反映させていただきたいと思っております。誠にありがとうございました。
- 全体を通り、クリニックを通して新たな気づきが多く見付き、様々な角度からアプリ、そして今後の戦略を見直すことができました。

情報提供セミナー・説明会

DX 推進研究会

中堅・中小企業の工場 DX を推進するためのデジタルイノベーションマネジメント

(主催：DX 推進研究会)

開催日：2022年7月22日(金)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：15社18名

タイトル1：「中堅・中小企業の工場 DX を推進するためのデジタルイノベーションマネジメント」

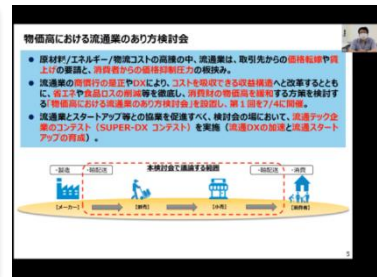
講演者1：内平 直志 氏 (北陸先端科学技術大学院大学 教授, 知識科学系長, トランスフォーマティブ知識経営研究領域長)

講演概略1：IoT や AI を活用することで大企業だけでなく中堅・中小企業でも新しい製品・サービスを開発や業務課題を解決する大きなチャンスが広がっている。一方、実際に導入しようとする様々な困難にも直面する。このようなデジタルイノベーションのチャンスと困難を、体系的に整理し、中堅・中小企業の先進事例も参照しながら、デジタルイノベーションマネジメントの要点について紹介。

タイトル2：「Super-DX コンテストについて」

講演者2：和仁 一紘 氏 (経済産業省 消費・流通政策課 課長補佐)

講演概略2：流通業における DX の加速化を目的として、スタートアップ等の流通テック企業から流通業やサプライチェーンが抱える課題の解決策となる提案を募集し、検討会の場で審査・表彰を行う「SUPER-DX コンテスト」の概要について説明。



職人技を数値化した HILLTOP の DX ものづくり

(主催：DX 推進研究会)

開催日：2022年10月3日(月)

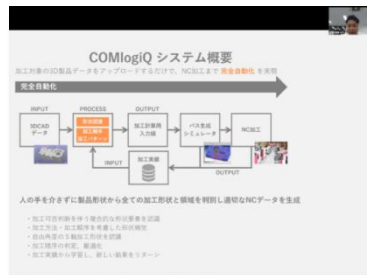
会場：オンライン (Zoom)

参加実績：26社32名

講演者：山本 勇輝 氏 (HILLTOP 株式会社 代表取締役社長)

講演概略：孫請けの鉄工所として毎日同じ製品を大量生産する町工場から一転。製造ラインに人が組み込まれるのではなく、人が主体となったモノづくりがしたい。ルーティーンワークからクリエイティブな空間へ、夢の工場を作りたいと努力を重ね、様々な金属の多品種小ロット加工への変革を成し遂げた。そして職人技を数値化し、24時間無人稼働での多品種・単品・短納期加工を実現。

人がやるべきこと(知的労働)と、機械に出来ること(ルーティーンワーク)を徹底的に分業、システム化した「HILLTOP SYSTEM」とAIを組み合わせた自動プログラミングで製造業DX化を目指す。自動プログラミングサービス「COMlogiQ」は、省人化や深刻な人手不足に加え、技能承継問題も解決が可能となる。人をルーティーンワークから解放し、本来取り組むべき業務(人材育成や新規事業、開発)へ人材をアサインするため、AI、Iot、Big Data を活用した、HILLTOP が提案する新しい形の製造サービスについて説明。



情報提供セミナー・説明会

地域デジタル推進

時代は確実に変わる、DX 推進は生き残るためにやる！

～内装設計施工会社が進める社内業務のDX化～

(主催：DX推進研究会)

開催日：2022年11月25日(金)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：31社36名

タイトル：ディスカッション『時代は確実に変わる、DX推進は生き残るためにやる！』

登壇者：新満 守氏 (株式会社プレステージ・プランニング 代表取締役)

高松 健氏 (一般社団法人日本中小企業スマートビジネス推進協会 理事長)

モデレータ：竹原 司氏 (一般社団法人ソフトウェア協会 DX推進研究会 主査)

講演概略：都内でマンションの内装とリノベーション業を展開する株式会社プレステージ・プランニングの新満社長と、一般社団法人日本中小企業スマートビジネス推進協会の高松理事長にご登壇いただき、社内作業削減を目的としたDX化への取り組み状況について、竹原主査を交えたディスカッションを行った。



「SPLATS KEY アイデアソン 2022 最終選考会」

開催日：2022年10月28日(金)

会場：ハイブリッド

参加実績：現地22名、オンライン29名

講演概略：顔認証ビジネス研究会では、株式会社クマヒラとリアルネットワークス株式会社の協力により、クマヒラが運営する“SPLATS KEY”サービスとリアルネットワークスの顔認証ソフトウェア“SAFR™”を活用したビジネスアイデアを募集する「SPLATS KEY アイデアソン 2022」を開催。最終選考会は10月28日にハイブリッドで開催し、1次選考を通過した5作品の新しいビジネスアイデアを6人の審査員が評価、最優秀賞・優秀賞・協賛特別賞を決定した。

	最優秀賞	優秀賞	協賛特別賞
タイトル	「集合住宅向け鍵管理システム」	「デスクレスワーカーのためのモバイル管理」	「仮想空間で活用する鍵管理」
受賞者	株式会社キッズウェイ 早川 実祐 様	株式会社サイエンスアーツ 営業本部 マネージャ 近野 楊介 様	株式会社ラネクシー 第二営業本部 穴沢 幸二 様・ 嶋崎 藍 様



SAU 活動 pickup | 2023/02/14

情報提供セミナー・説明会

地域デジタル推進

docomo 5G DX AWARDS 2022

(主催：NTTドコモ、NTTドコモ・ベンチャーズ 協力：SAJ 地域 5G 研究会)

開催日：2022年10月20日(火)

会場：オンライン (Zoom)

講演概略：今年度はSDGs×8業界（「建築」「メディア」「小売」「製造」「医療」「交通・物流」「農業・林業・水産業」「自治体・観光（地方創生）」）をテーマに、SDGsの達成に貢献する特徴的なアセットを募集。SAJ-DX特別賞にはSAJ会員である株式会社フォーラムエイトの「F8VPS」Web VRプラットフォームが選ばれ、20日の最終発表会にて入賞アセットに関するプレゼンテーションを行った。

【Online】5Gの最新動向～docomo 5G DX AWARDS 2022 SAJ-DX 特別賞受賞記念セミナー

開催日：2022年11月22日(月)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：18社20名

タイトル：5Gの最新動向～docomo 5G DX AWARDS 2022 SAJ-DX 特別賞受賞記念セミナー

講演者：新田 純子氏 (株式会社フォーラムエイト 執行役員 営業サポート管理マネージャ)

坪谷 寿一氏 (株式会社NTTドコモ 執行役員 ライフスタイルイノベーション部長)

岩本 健嗣氏 (NTTコミュニケーションズ株式会社プラットフォームサービス本部 5G & IoT サービス部 5G サービス部門 部門長)

講演概略：docomo 5G DX AWARDS 2022でSAJ-DX特別賞を受賞した『「F8VPS」Web VRプラットフォーム』について、新田純子氏(株式会社フォーラムエイト 執行役員 営業サポート管理マネージャ)より、今後の様々な地域の課題解決の一助を担うソリューションであると、講演頂いた。そして、坪谷主査・岩本 健嗣氏 (NTTコミュニケーションズ株式会社プラットフォームサービス本部 5G & IoT サービス部 5G サービス部門 部門長)より、昨今の国における科学技術/ITイノベーション推進強化の動きを地域ITのビジネス機会と捉え、地域におけるGX、DXの試みなど具体的な地域事業創出の実現及び、「地域における最新5Gビジネス動向」として、同社の5Gへの取り組みと事例についてご紹介頂いた。



情報提供セミナー・説明会

地域デジタル推進

【Online】最先端のセキュリティ講座

開催日：2022年12月19日（月）

会場：ハイブリッド(SAJ3F会議室+オンライン（Zoom）)

参加実績：27社38名

講演者：室川 豪氏（ジェネテック・ジャパン株式会社 カントリーマネージャー）
松倉 泉氏（株式会社 ZenmuTech 営業部）

講演概略：「最先端のセキュリティ講座」と題し、フィジカルセキュリティ視点からの顔認証としてのVMS(ビデオマネジメントシステム)について、室川 豪氏(ジェネテック・ジャパン株式会社 カントリーマネージャー)が講演し、その後認証用の顔データや付随するデータを安全に管理する『秘密分散』の技術について、松倉 泉氏(株式会社 ZenmuTech)が講演された。『秘密分散』技術を『顔認証』と連携する技術については、浅堀 諒氏(ネクストウェア株式会社)が補足説明され、参加企業からは、これからの認証について、物理的な認証と生体認証が並行して存在するのかなど、興味深い議論が行われた。



情報提供セミナー・説明会

セキュリティ

巧妙な手口に騙されるな！なりすましメールの攻撃と対策

(主催：Software ISAC セキュリティ経営委員会)

開催日：2022年7月27日(水)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：20社 26名

タイトル：巧妙な手口に騙されるな！なりすましメールの攻撃と対策

講演者：萩原 健太氏 (SAJ 理事/Software ISAC 共同代表 株式会社ビジネスブレイン太田昭和 CMO)

講演概略：サイバー攻撃の事例紹介、メールの仕組みとどこで攻撃されるか、代表的なメール攻撃(マルウェア付きメール、標的型メール、フィッシングメール、スミッシングメール、ビジネスメール詐欺)の説明、攻撃に対する対策(個人編・組織編)などについて解説。

災害級の被害も発生！？ーから学べるランサムウェア

(主催：Software ISAC セキュリティ経営委員会)

開催日：2022年8月26日(金)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：21社 25名

タイトル：災害級の被害も発生！？ーから学べるランサムウェア

講演者：萩原 健太氏 (SAJ 理事/Software ISAC 共同代表 株式会社ビジネスブレイン太田昭和 CMO)

講演概略：ランサムウェアによる被害事例紹介、侵入方法、感染した場合の被害や対応方法、ランサムウェアに感染しないための対策などについて説明。

ランサムウェアに備えた最低限のBCP対策

(主催：Software ISAC セキュリティ経営委員会)

開催日：2022年9月5日(月)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：32社 50名

タイトル1：サイバーBCPって・・・？アセスメント結果から見てきた中堅企業の課題

講演者1：内田 昌宏氏 (株式会社ラック シニアコンサルタント)

講演概略1：あらためてインシデントレスポンスと災害BCPの関係を整理するとともに、アセスメント結果に基づく中堅企業の課題について解説。

タイトル2：サイバーインシデントに遭遇したら・・・？

リスクマネジメントの観点から最低限知っておきたいポイント

講演者2：宮崎 健太郎氏 (SOMPO リスクマネジメント株式会社 サイバーセキュリティ事業本部サービ
ス推進部 特命部長)

講演概略2：サイバーインシデントに遭遇するとどの様になるか？そのためにどのような準備をしておく必要があるか？実際の事例をふまえて解説。



情報提供セミナー・説明会

セキュリティ

サイバーセキュリティに関する経営者らの善管注意義務

(主催：Software ISAC セキュリティ経営委員会)

開催日：2022年9月29日（木）

会場：オンライン（Zoom）

参加実績：22社34名

タイトル：サイバーセキュリティに関する経営者らの善管注意義務

講演者：北條 孝佳 氏（西村あさひ法律事務所 弁護士）

講演概略：経営者らが負う義務と責任について、法的観点から善管注意義務を中心に、事例や判例を用いて紹介。

内部不正に関する法的課題

(主催：Software ISAC セキュリティ経営委員会)

開催日：2022年12月7日（水）

会場：オンライン（Zoom）

参加実績：22社33名

タイトル1：内部不正に関する法的課題

講演者：北條 孝佳 氏（西村あさひ法律事務所 弁護士）

講演概略：内部不正による情報漏えいにフォーカスを当て、国内の事案だけではなく、海外事案も交えて紹介。法律とセキュリティの両面から内部不正の対策について考察。

Software ISAC 情報共有会

(主催：Software ISAC)

開催日：2022年12月8日（木）

会場：オンライン（Zoom）※一部ハイブリッド

参加実績：33社45名

タイトル1：ソフトウェアのセキュリティに関する政策動向について

講演者1：奥田 修司 氏（経済産業省 サイバーセキュリティ課 課長）

講演概略1：ソフトウェアのセキュリティに関する政策動向について説明。

タイトル2：今、対応が求められるSBOMとは？

講演者2：萩原 健太 氏（SAJ 理事／Software ISAC 共同代表 株式会社ビジネスブレイン太田昭和 CMO）

講演概略2：現在、実証実験を行っている企業からの情報提供等も含めて情報共有。

タイトル3：大量にあるセキュリティ推奨設定との付き合い方

講演者3：初田 淳一 氏（株式会社ラック セキュリティビジネス統括部 担当部長兼 サイバー・グリッド・ジャパン）

講演概略3：コンサルティングをおこなっている企業の立場から、活動の中でセキュリティ対策を提示した際によくある顧客からの反応、コンサルタントとして心がけていることの共有、セキュリティガイドラインとの付き合い方などについて考察。

タイトル4：コネクテッドカーの課題と取組み状況

講演者4：中島 一樹 氏（一般社団法人 J-Auto-ISAC サポートセンター長）

講演概略4：自動車業界がモビリティビジネスへの変貌を遂げつつある状況とコネクテッドカー、自動運転車の取組み状況などについて紹介。

情報提供セミナー・説明会

その他

リーダー・管理者向け 部下のタイプ別 マネジメント術

開催日：2022年7月21日（木）

会場：オンライン（Zoom）

参加実績：20社37名

講演者：芳村 瑞恵 氏（株式会社アイソルート コミュトレ・インストラクター）

講演概略：テレワーク時代に部下を動かすオンライン・マネジメント術について、上司を対象としたセミナーを、株式会社アイソルート様の協力で企画・開催。



20～30 代若手社員向け 苦手を克服！会議で積極的に発言をする

開催日：2022年9月14日（水）

会場：オンライン（Zoom）

参加実績：15社60名

講演者：芳村 瑞恵 氏（株式会社アイソルート コミュトレ・インストラクター）

講演概略：若手社員向けの「会議で積極的に発言をする」をテーマとして、株式会社アイソルート様の協力で企画・開催。



情報提供セミナー・説明会

その他

20～30代若手社員向け 職場ストレスゼロへ！周囲を巻き込む社内調整力

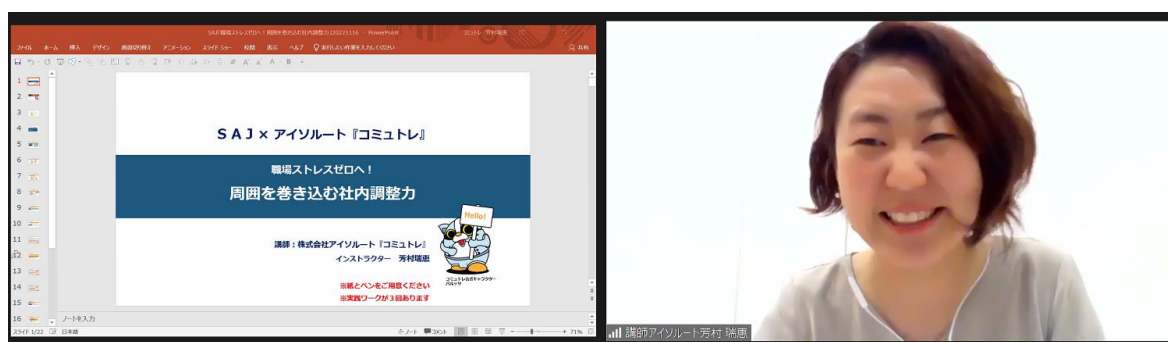
開催日：2022年11月16日（水）

会場：オンライン（Zoom）

参加実績：12社26名

講演者：芳村 瑞恵氏（株式会社アイソルート コミュトレ・インストラクター）

講演概略：若手社員向けの「周囲を巻き込む社内調整力」をテーマとして株式会社アイソルート様の協力で企画・開催。



2023年1月以降開催セミナー(予定含む)

1月開催セミナー

メタバースって結局何ができるんだ？開発手法&体験セミナー

(主催：技術委員会)

開催日：2023年1月20日(金) 14:00~17:00

会場：SAJ会議室+オンライン (Zoom)

「SaaS時代のセキュリティ『IDaaS(Identity as a Service)』とは？」

(主催：DX推進研究会)

開催日：2023年1月23日(月) 15:00~16:30

会場：オンライン (Zoom)

人材セミナー「サイバーエージェントの採用戦略」

(主催：農業ICT研究会)

開催日：2023年1月26日(木) 16:00~17:30

会場：オンライン (Zoom)

「食」の安全と流通を考える～食料安全保障とトレーサビリティ～

(主催：農業ICT研究会)

開催日：2023年1月27日(金) 15:00~17:00

会場：オンライン (Zoom)

生産性向上支援訓練 第5弾 「新サービス・商品開発の基本プロセス」

～ヒット商品は、こうして生まれた～

(主催：人材委員会)

開催日：2023年2月2日(木) 10:00~17:00 (内休憩1時間)

2023年2月3日(金) 10:00~17:00 (内休憩1時間)

会場：オンライン (Zoom)

生産性向上支援訓練 第6弾 「顧客分析手法」～データマイニング手法の活用～

(主催：人材委員会)

開催日：2023年2月7日(火) 10:00~17:00 (内休憩1時間)

2023年2月8日(水) 10:00~17:00 (内休憩1時間)

会場：オンライン (Zoom)

第150回アライアンスビジネス交流会 開催案内

(共催：一般社団法人日本コンピュータシステム販売店協会 (JCSSA))

開催日：2023年2月14日(火) 14:30~16:45

会場：オンライン (Zoom)

2023年2月以降開催セミナー(予定含む)

2月開催セミナー

医療機関におけるサイバーセキュリティ対策セミナー

開催日：2023年2月15日(水) 14時30分～17時20分(予定)

会場：オンライン (Zoom)

『デジタル時代における人材育成・評価の新機軸「デジタルスキル標準」とは』

(主催：人材委員会)

開催日：2023年2月16日(木) 15:00～16:30

会場：オンライン (Zoom)

生産性向上支援訓練 第7弾 「テレワーク業務における労務管理」

～労務管理きちんとできていますか？～

(主催：人材委員会)

開催日：2023年2月28日(火) 10:00～17:00(内休憩1時間)

3月1日(水) 10:00～17:00(内休憩1時間)

会場：オンライン (Zoom)

<交流委員会新企画> 第1回 SAJ 親睦ボウリング大会

(主催：人材委員会)

開催日：2023年2月28日(火)

会場：東京ポートボウル

なぜ?で考える ChatGPT の不思議

(主催：AI・量子計算技術研究会)

開催日：2023年3月10日(金) 15:00～17:00

会場：オンライン (Zoom)

第3回会員企業視察「日本マイクロソフト株式会社」

～ハイブリッドワークを支える最新技術を体験しよう～

(主催：交流委員会)

開催日：2023年3月15日(水) 16:00～20:00頃

会場：日本マイクロソフト株式会社

ニュースリリース

2022年10月4日(火)

[U-22プログラミング・コンテスト 2022 事前審査結果発表 328 作品中 32 作品が一次審査へ!](#)

「U-22 プログラミング・コンテスト」を主催する U-22 プログラミング・コンテスト実行委員会は、U-22 プログラミング・コンテスト 2022 において、エントリー328 作品（応募者総数 995 名）のうち、事前審査を通過した 32 作品を発表しました。

2022年10月14日(木)

[U-22 プログラミング・コンテスト 2022 最終審査に進む 16 作品を発表!](#)

11月27日(日)、3年ぶりの現地開催で経済産業大臣賞がついに決定!

初開催となる U-22 キービジュアルコンテストの結果も同日発表!

U-22 プログラミング・コンテスト実行委員会（実行委員長：青野 慶久（SAJ 筆頭副会長/サイボウズ株式会社 代表取締役社長）は、このたび一次審査を実施、審査委員による審査のもと、最終審査に進む 16 作品を決定しました。

2022年11月2日(水)

[2022 年秋の褒章で SAJ 水谷名誉顧問が「藍綬褒章」受章](#)

2022年11月2日付けで発表されました「秋の褒章」において、SAJ 水谷学名誉顧問（ピー・シー・エー株式会社 取締役相談役）が、公共の利益を増進した功績が顕著とみられる者に授与される「藍綬褒章」の受章が決定しました。

水谷名誉顧問は、2008年（平成20年）6月に社団法人コンピュータソフトウェア協会（CSAJ）の理事に就任され、2014年（平成26年）6月以降、CSAJ（2021年より SAJ）筆頭副会長として、ソフトウェア業界の意見をとりまとめ、政府をはじめとする関係各所に積極的に発信するなど、業界のプレゼンス向上と発展に多大なる貢献を果たされました。

この度、その功績を評価いただき、「藍綬褒章」の受章となりましたことをご報告させていただきます。

2022年11月2日(水)

[SaaS 連携実証 WG で成果モデルとなるユーザー企業を募集](#)

[～複数のクラウドサービスのデータを自動連携させて手入力を省き、中小企業の生産性向上を目指す～](#)

一般社団法人ソフトウェア協会の DX 推進研究会では、複数のクラウドサービスやシステムをカスタマイズすることなくシステム連携を実現することをテーマとした「SaaS 連携実証ワーキンググループ」の活動において、成果モデルとなる企業を募集します。

2022年11月29日(火)

[【速報】 U-22 プログラミング・コンテスト 2022 最終審査会で各賞決定!!](#)

制作者の個性があふれる生プレゼンテーションで場内笑顔に。プログラミングコンテストならではの「技術力」が高評価

「U-22 プログラミング・コンテスト」を主催する U-22 プログラミング・コンテスト実行委員会（実行委員長：青野 慶久（サイボウズ株式会社 代表取締役社長））は、2022年11月27日（日）に行われた最終審査会において、入選 16 作品を審査、経済産業大臣賞をはじめとする各賞を決定しました。

※詳細は[公式 Web サイト](#)をご参照ください。

ニュースリリース

2022年12月8日(木)

[医療機関向けサイバーセキュリティ対策研修事業開始](#)

一般社団法人ソフトウェア協会は、厚生労働省「医療情報セキュリティ研修及びサイバーセキュリティインシデント発生時初動対応支援・調査事業」を受託し、医療機関向けサイバーセキュリティ対策研修事業を2022年12月20日に開始いたします。本事業では、更なる医療機関のサイバーセキュリティ対策の徹底を図るべく、経営層や医療従事者等へのセキュリティ対策研修を実施いたします。それに伴い、[医療機関向けセキュリティ教育支援ポータルサイト](#) (MIST : Medical Information Security Training) を開設いたします。

報告書

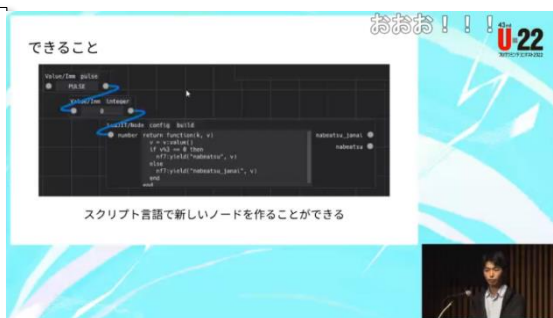
U-22プログラミング・コンテスト 2022 実施報告書

2019年以來、3年ぶりに制作者本人が現地会場に集結し、それぞれのオリジナル作品について、審査員を目の前に個性的なプレゼンテーションを披露、会場内は感嘆の声と笑いが織りなす、リアル開催ならではの和やかなムードの中、進行しました。

今回の受賞作品の特徴は「技術力」。オリジナル言語、自作ゲームエンジンだけでなく、オリジナル言語で制作したゲームや、オンラインパーティーアクションゲームのデモに果敢にも挑戦した作品など、「U-22」の特徴が集約された年となりました。

○経済産業大臣賞（表彰状、トロフィー／副賞：50万円）

受賞カテゴリ	作品名	制作者 or チーム名／学校名
総合	Nf7	米丸 賜喜／-
テクノロジー	ButiEngine	竹瀨 高樹／日本工学院専門学校
アイデア	Interplayer	町田 射空／苫小牧工業高等専門学校
その他	不思議なおもちゃとパズルの世界	SUNGCC／専門学校サンテクノカレッジ



実施事業

就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業

第8回訓練（IT 検証技術者コース、システム運用技術者コース）開催報告

期 間：2022年7月4日（月）から8月30日（火） 40日間（平日）

場 所：東京会場（IT 検証技術者コース、システム運用技術者コース）
ウチダ人材開発センタ7階、8階 研修室
大阪会場（IT 検証技術者コース・システム運用技術者コース）
TKP 大阪御堂筋カンファレンスセンター6階、8階 会議室

参加実績：IT 検証技術者コース(東京) 21名（内4名が途中辞退）
IT 検証技術者コース(大阪) 5名（内0名が途中辞退）
システム運用技術者コース(東京) 21名（内0名が途中辞退）
システム運用技術者コース(大阪) 15名（内2名が途中辞退）

終了条件：IT 検証技術者コース IT 検証技術者レベル1合格
システム運用技術者コース 情報ネットワーク・セキュリティ検定1級合格

実 績：IT 検証技術者コース IT 検証技術者レベル1合格者
東京 9名/17名 修了率52.9%
大阪 5名/5名 修了率100%
システム運用技術者コース 情報ネットワーク・セキュリティ検定1級合格
東京 21名/21名 修了率100%
※合格者のうち10名はCCNA取得
大阪 13名/13名 修了率100%
※合格者の内11名はCCNA取得



<訓練初日の開講式挨拶 IT 検証技術者コース・システム運用技術者コース>

実施事業

就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業

第9回訓練（IT 検証技術者コース、システム運用技術者コース）開催報告

期 間：2022年10月3日（月）から11月30日（水） 40日間（平日）

場 所：東京会場（IT 検証技術者コース、システム運用技術者）
ウチダ人材開発センタ7階、8階 研修室
名古屋会場（IT 検証技術者コース）
TKP 名古屋栄カンファレンスセンター7階 会議室
大阪会場（システム運用技術者コース）
TKP 大阪御堂筋カンファレンスセンター6階 会議室

参加実績：IT 検証技術者コース（東京） 14名（内1名が途中辞退）
システム運用技術者コース（名古屋） 8名（内3名が途中辞退）
システム運用技術者コース（東京） 16名（内3名が途中辞退）
システム運用技術者コース（大阪） 20名（内2名が途中辞退）

終了条件：IT 検証技術者コース IT 検証技術者レベル1合格
システム運用技術者コース 情報ネットワーク・セキュリティ検定1級合格

実 績：IT 検証技術者コース IT 検証技術者レベル1合格者
東京 11名/13名 修了率84.6%
名古屋 4名/5名 修了率80%
システム運用技術者コース 情報ネットワーク・セキュリティ検定1級合格
東京 13名/13名 修了率100%
※合格者の内9名はCCNA取得
大阪 18名/18名 修了率100%
※合格者の内14名はCCNA取得



実施事業

医療情報セキュリティ研修およびサイバーセキュリティインシデント発生時初期対応支援事業

第1回初学者・医療従事者向け研修開催報告

日 時：2022年12月20日（火）15:00～16:00
 場 所：オンライン（Zoom）
 参加実績：376名
 申込者数：405病院 472名

	経営者	システム・セキュリティ管理者	初学者（医療従事者）								
オンライン研修	1/24, 2/21 Zoom開催（※いずれも同じ内容です）	1/26, 2/2, 2/9, 2/16 Zoom開催（※内容が異なります）	12/20, 1/20, 2/20, 3/3 Zoom開催（※いずれも同じ内容です）								
	2月15日 Zoom開催（※ベンダーの皆様もご参加頂ける予定です）										
e-learning	第2弾 <table border="1"> <tr> <td>インシデント体験談「つるぎ町立半田病院で起きたこと」</td> <td>医療機関で心得ておくべき契約</td> </tr> <tr> <td>情報セキュリティ責任者になったら考えるべきこと</td> <td>ベンダーとの調整や連携について</td> </tr> <tr> <td>今すぐできるセキュリティ対策</td> <td>インシデント発生に備えた準備のあり方</td> </tr> <tr> <td>医療機関におけるコミュニケーションツールの活用</td> <td>半田病院のインシデントから学ぶ技術強化と契約のポイント</td> </tr> </table> <p>※どなたでも受講可能です。全てご受講頂く必要もございません。タイトルや内容は仮内容のため変更させて頂く場合がございます。</p>			インシデント体験談「つるぎ町立半田病院で起きたこと」	医療機関で心得ておくべき契約	情報セキュリティ責任者になったら考えるべきこと	ベンダーとの調整や連携について	今すぐできるセキュリティ対策	インシデント発生に備えた準備のあり方	医療機関におけるコミュニケーションツールの活用	半田病院のインシデントから学ぶ技術強化と契約のポイント
	インシデント体験談「つるぎ町立半田病院で起きたこと」	医療機関で心得ておくべき契約									
情報セキュリティ責任者になったら考えるべきこと	ベンダーとの調整や連携について										
今すぐできるセキュリティ対策	インシデント発生に備えた準備のあり方										
医療機関におけるコミュニケーションツールの活用	半田病院のインシデントから学ぶ技術強化と契約のポイント										
	第1弾 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> ← <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> セキュリティの基本、最近の脅威 （受講および受講者選定） </div> → </div> <p>※個別のお申込み、どなたでもご受講可能です。</p>										



<https://mhlw-training.saj.or.jp/>

実施事業

プライバシーマーク審査事業

1. プライバシーマーク審査判定委員会 (2022年4月～12月)

個人情報保護に関する学識経験者等を委員委嘱し、プライバシーマークの付与適格性審査や個人情報事故措置審議を行う第三者委員会として、計9回の委員会を開催し、付与適格決定106社(新規29社、更新81社、組織変更2社)、個人情報事故措置29件を決定致しました。

2. 2021年度プライバシーマーク審査事業実施状況 (2022年4月～12月)

	新規	更新	組織 変更	合計	目標 対比	入会 数	他か らの 乗換	他へ の変 更	実質増 減数
2021年 度実績	42社	114社	0社	156社	111.4%	44社	0社	12社	30社
2022年 度実績	29社	98社	3社	130社	100.0%	32社	1社	11社	19社

3. 申請様式、申請方法、審査料等

申請様式、申請方法、審査料等については、以下のURLをご参照下さい。

<https://www.saj.or.jp/activity/project/pmark/index.html>

ご案内

U-22プログラミング・コンテスト 2023 スポンサー企業募集中！

https://www.saj.or.jp/NEWS/activity/u22/2023_sponsors.html

U-22プログラミング・コンテスト 2023 開催に先立ち、次代のIT人材の発掘・応援に賛同いただくスポンサー企業を募集します。

当コンテストは「プログラミング」を用いて、自らの自由な発想・アイデアを形にし、身の回りの課題を解決したり、「プログラミング」が好きで、夢中になって開発し、新しいものを創り出す、若者を応援するコンテストです。

最終審査会では制作者本人が自身の作った作品について、デモなどを交えてプレゼンテーションします。参加者の中には、ユーザテスト・検証・改善を繰り返し、ユーザビリティも考慮された、いつリリースしてもおかしくない作品、既に公開してユーザーに利用されている作品、好きなものをとことん追求して作りこんだ作品など、毎年多くのユニークな作品が登場し、視聴者からも好評の声をいただいています。

協賛企業においては、優秀な人材の確保、認知度・企業イメージ・ブランドの向上、社会貢献など、協賛ランクに応じて、複数のメリットがあります。

また、上位ランクのスポンサーの場合は、相談に応じて、自社に有用な新たな協賛メリットを付与することも可能です。（詳細は「U-22プログラミング・コンテスト 2023 スポンサー資料」参照）

国内外で活躍する次世代の若者たちと一緒に応援し、盛り上げていきませんか？

たくさんのお申込みお待ちしております。

▼参考：コンテストの様子

[U-22プログラミング・コンテスト公式 Web サイト](#)

[U-22プログラミング・コンテスト 2022 開催レポート](#)

[U-22プログラミング・コンテスト 2022 最終審査会ダイジェスト \(Movie\)](#)

【スポンサーメリット抜粋】 ※ランクに応じて様々な特典があります。

内容/ランク（金額税抜表記）	ダイヤモンド 500万円	プラチナ 300万円	ゴールド 200万円	シルバー 100万円	ブロンズ 50万円
制作物への社名掲載 (チラシ・ポスター・Webサイト)	ロゴ特大	ロゴ大	ロゴ中	ロゴ小	社名
全国リーフレット発送（約7500通） 時のカタログ同梱	○	-	-	-	-
Web・SNS広告ロゴ掲載	○	-	-	-	-
U-22メルマガ広告枠の提供	○	○	○	○	○
会社見学・セミナー等の企画・開催	○	○	○	-	-
最終審査会カタログ・パネルティ等の 配布	○	○	○	○	○
最終審査会PPTロゴ・社名掲載	ロゴ特大	ロゴ大	ロゴ中	ロゴ小	社名
実行委員会・審査委員会への参加	○	○	○	-	-
企業賞の実施	○	○	○	-	-
最終審査会CM枠提供	○	○	○	-	-
特定応募者へのコンタクト	○	○	○	-	-
最終審査会表彰パネルロゴ掲載	○	-	-	-	-
最終審査会特別講演枠 (オンラインの場合)	○	-	-	-	-
最終審査会交流会参加 (オンサイトの場合)	5名まで	3名まで	2名まで	2名まで	1名まで



品質の見える化

PSQ認証制度は、世界に通用する国産ソフトウェア製品の品質を認証するしくみです。

新 PSQ 認証制度 申請製品募集中！

ソフトウェア製品品質の国際規格 ISO/IEC25051:2014 に
準拠した第三者適合性評価で、貴社製品をもっとアピール！

PSQ 認証制度は、SAJ が、国産既製ソフトウェア製品/クラウドアプリケーションの品質の高さを世界で通用することを証明するために制定した認証制度で、国際規格である ISO / IEC 25051:2014 を評価基準として参照して構築した品質認証制度です。認証制度には自社で完結する簡易認証、ドキュメントによる第三者認証、実機検証による第三者認証まで簡易なレベルから、より高度な評価・認証までラインナップ化しております。

- ・ PSQ-Lite <簡易認証>
- ・ PSQ-Standard <評価機関によるドキュメントでの第三者認証>
- ・ PSQ-Premium <独立評価機関による実機検証での第三者認証>

<https://www.saj.or.jp/activity/project/psq/index.html>



ISO/IEC 25051:2014



ISO/IEC 25051:2014

認証申請、お問い合わせ先（PSQ 認証制度、マイナンバー対応ソフトウェア認証制度）

一般社団法人ソフトウェア協会 PSQ 認証室

TEL:03-3560-8440 E-mail:psq_info@saj.or.jp

ソフトウェア品質保証宣言 「ソフトウェア品質向上宣言」申請企業募集中！

自社のソフト開発に対する品質への取組をアピールするなら！

SAJ では、ソフトウェア開発企業が自社で開発目標を掲げ、高品質な製品提供ができるような基準を持って、製品出荷を実施（予定含む）する品質向上に向けた自社の活動を宣言書に基づき宣言し、取引先や見込み顧客に向けて自助努力を説明しやすくすることを目的としたソフトウェア品質向上宣言を開始しました。品質宣言条項（フォーマット）への記載と提出のみで証明ロゴマークを提供しますので Web サイト、カタログ等で積極的なアピールに活用可能です。

https://www.saj.or.jp/activity/project/SW_Declare/index.html



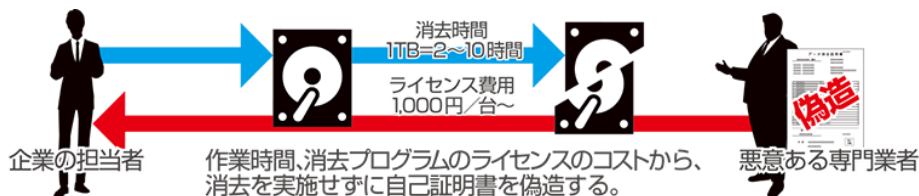
データ適正消去証明書発行事業



データの適正な消去のあり方を調査・研究し、その技術的な基準を策定するとともに、これに基づいてデータの適正消去が実行されたことを証明するための第三者的な証明制度の普及・啓発を図り、もって我が国における健全で安心安全な循環型IT社会の実現に寄与することを目的として設立された「データ適正消去実行証明協議会(略称 ADEC)」からの委託を受け、一般社団法人ソフトウェア協会では、「データ適正消去実行証明書」を発行します。

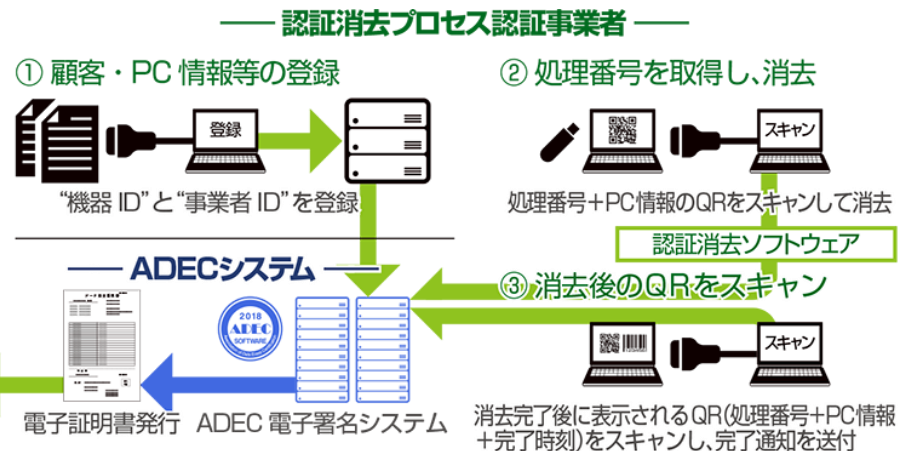
一般社団法人ソフトウェア協会が、第三者として「データ適正消去実行証明書」を発行することにより、より健全で安心安全な循環型IT社会の実現を目指していきます。

問題



消去事業者の作業報告書(自己証明書)では、作業を実施したか確認できない。

解決



第三者が証明することで、適正な消去を行ったことが証明できる。



ADECで認証された「消去ソフトウェア」のメーカーおよび「消去サービス事業者」として認証された企業様と協力し、パソコン等のデータが適正に消去されたことを証明する「データ適正消去実行証明書」を発行します。

SAJ 活動 Pickup

2022年7月～12月

2023年2月14日発行



〒107-0052
東京都港区赤坂 1-3-6
赤坂グレースビル
TEL:03-3560-8440

<https://www.saj.or.jp>

